

# 第32回

【地域別】

## 市民と市長のタウンミーティング 報告書



○期 日 平成 22 年 7 月 18 日

○会 場 吉祥寺西コミュニティセンター

武 蔵 野 市

## まえがき

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そしてテーマを決めずに実施する「青空タウンミーティング」がごございます。

平成18年からの2年間で、すべてのコミュニティ協議会との共催により、「地域別タウンミーティング」を計16回開催しました。その後、「商店街の振興」「災害に強いまちづくり」「地域で支えあう福祉のまちづくり」「市民協働で育むまちづくり」「市民とつくる環境にやさしいまちづくり」をテーマとしたタウンミーティングを計7回、地域別の2巡目のタウンミーティングを計5回、屋外での青空タウンミーティングを計3回開催いたしました。

今回は、中央コミュニティ協議会・吉祥寺西コミュニティ協議会との共催により、「第32回市民と市長のタウンミーティング」を開催しましたので、その結果を報告いたします。

今後も、市内の様々な場所で、タウンミーティングを開催していくことにより、さらに多くの意見交換を行ってまいります。

武蔵野市長

**邑上守正**

## 概 要

1. 日 時 平成22年7月18日(日)  
午後2時～4時30分
2. 場 所 吉祥寺西コミュニティセンター
3. 主 催 武蔵野市  
中央コミュニティ協議会  
吉祥寺西コミュニティ協議会
4. 参加者数 90人
5. 主催側出席者 市 長 邑上 守正  
中央コミュニティ協議会 委員長 皆藤 弥峰  
吉祥寺西コミュニティ協議会 委員長 羽島 脩一  
企画政策室長 小森 岳史  
防災安全部長 笹井 肇  
子ども家庭部長 青木 稔  
都市整備部長 檜山 啓示  
子ども家庭課長 大杉 洋  
市民協働推進課長 森安 東光
6. 司 会 中央コミュニティ協議会 副委員長 君島 陽子  
吉祥寺西コミュニティ協議会 副委員長 望月 京子  
企画政策室 市民協働担当部長 大杉 由加利
7. テ ー マ 「安心・安全な住みよいまちづくり」  
「各世代の居場所づくりと住みよい環境づくり」



4. 前回のタウンミーティング

(第13回平成19年7月及び第14回平成19年8月)での

主なご意見とその後の進捗状況…………… 35

— 付属資料 —

第32回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

## 1. 発言の要旨

### (1) 開会のあいさつ

#### 【市長】

皆様、こんにちは。昨日、梅雨が明けたという気象庁の発表がございましたので、いよいよ本格的な夏に入ったわけですが、今週は、大変気温も上がって猛暑が続くということですので、ぜひ体調の管理にご注意いただきたいなと思っています。



本日は、第 32 回「市民と市長のタウンミーティング」にご参加いただきましてありがとうございます。おかげさまでこの取り組みもかなり定着をしております。今までの参加者の数が 2,700 名を超えているということでございます。皆様方からいただいた意見は、解決できるものはすぐに解決を目指してまいりましたが、課題として掲げられたものについては、市のさまざまな計画の中でもその意見を取り上げて、検討を進めてまいりました。今回は吉祥寺西コミュニティセンターの会議室をお借りしておりますけれども、中央コミュニティ協議会と吉祥寺西コミュニティ協議会の共催という形で、ご協力いただきましてありがとうございます。よろしく申し上げます。

実は、両協議会とも今から 3 年前、平成 19 年の 7 月に吉祥寺西コミセンで第 13 回タウンミーティングを、次の月、8 月に第 14 回のタウンミーティングを中央コミセンでやらせていただいたということもございますので、この地域では 3 年ぶりということになります。この間、当時いただきました意見について、かなり取り組んできたものもございますが、先ほど申しましたとおり、なかなか進んでないものも確かにございます。今日は従来からいただいた意見の進捗状況を報告するとともに、この間、いろいろな新たな課題が起きているだろうと思っておりますので、そういうさまざまな課題、意見、提案等をいただきまして、皆様方との意見交換をできればなと思っております。

なお、今日なかなか言えなかったというようなことがございましたら、後日でも構いませんので、各コミセンでも、あるいは市にでも、直接さまざまな意見を今後ともお寄せいただきたいなと思っております。

#### 【中央コミュニティ協議会 皆藤 弥峰 委員長】

本日は 3 連休の真ん中、またこの暑いさなか、たくさんの方にお集まりいただきまして本当にありがとうございます。

中央コミュニティ協議会では、先ほど市長からお話いただきましたが、3 年前にタウンミーティングを行いました。そのとき、今のツインタワー建設前で、反対運動とかいろんな要望がいっぱい出されまして、それが今になってみますと駐輪場ができたり、託児所ができたり、それから周りの緑も幾らか確保されたりと、そのときの意見が大分生かされてきたと思います。また中央コミセンに関しましては、その当時エレベーターもなく、リフ



トもなく、度々エレベーターの要望が出たんですけど、その要望が2年前に通りまして、リフトが完成いたしました。やはりこういう会で市長に直接ご意見いただきますと、全部が実現するとは限りませんが、多くのことが実現できると思いますので、きょうも忌憚なく多くの意見を出していただければと思っております。よろしくお願いいたします。

**【吉祥寺西コミュニティ協議会 羽島 脩一 委員長】**

皆様、こんにちは。ちょうど3年前に、先ほど市長からご紹介ありましたタウンミーティングですが、当時、西コミセンでは地域の諸団体の方に、タウンミーティングをどうすればいいかということでお集まりいただいた記憶がございます。その後、それを契機に、西コミセンでも地域懇談会というのを設けまして、既に4回ほど地域の諸団体の方を含めて懇談会を行っています。



その中でいろいろ出てきたのが、安心・安全なまちづくり、それからやはり、最近、お年寄りとお中高生たちの居場所がないなというようなことがございました。今回のテーマにつきましても、運営委員会とか、いろいろな意見をいただきまして、提案をしました。

それもきっかけは3年前の「市長と市民のタウンミーティング」でこのことが今日に実ったのかなと思います。中央と、こちらは吉祥寺本町、それから中町を中心とした町で、隣り合わせの町ですので、そういう意味で共通の認識の住民ではないかと思っております。今日は市長が積極的に皆さんのお話を聞きたいという会ですので、どうか忌憚のないご意見を遠慮なくお話しいただければと思います。最後までひとつよろしくお願いいたします。

※以下、35～55 ページの「前回のタウンミーティング（第 13・14 回）での主なご意見とその後の進捗状況」の中から、代表的なものを抜粋して、市長が報告しました。

## (2) 第1部「安心・安全な住みよいまちづくり」をテーマにした意見交換(要旨)

### 1. 吉祥寺駅北口のムーバスのバス停について

#### 【ご意見】

吉祥寺本町に住んでいる。現在のムーバスの待ち合わせ場所は、地面に行き先が書いてあるだけで、北西、東、三鷹・吉祥寺循環が同じところになっていて、非常にわかりにくい。乗る人の多くが高齢者と子どもなので、もう少しスペースを取って、わかりやすくしてほしい。

また、運行間隔もあるので、年配の方などが歩道に座ったりして、大変危ない。ロータリーの真ん中でよく音楽祭をやったり工事のトラックがいたりするが、マナーポイントの横に広い場所が常に空いているので、その場所を利用して、いすなどを設置できないか。

#### 【市長】

吉祥寺の駅前広場については、空間に限りがあります。今、吉祥寺の駅舎等の大きな工事をスタートしており、一部広場が縮まっています。いずれ駅舎の工事が終わった段階で、北口駅前広場全体の見直しを行いたいと考えていますので、ムーバスのバス停のあり方については、その中できちんと整理をしたいと思っています。

併せてロータリーについても、できればもう少し市民利用ができるような形にならないかなと考えていますので、どうぞいろいろなご意見をいただきたいと思っています。

### 2. 地域福祉の活性化、社協の移転について

#### 【ご意見】

吉祥寺本町に住んでいる。私は、リタイア後の3年弱、地域社協の一員として地域福祉におけるささやかな活動を行っている。市長は十分ご存知だと思うが、そのうち、95%は超すだろうと思う女性の方が中心にやっており、それも80歳代、70歳代と、高齢の方が非常に多い。最近では災害時要援護者対策事業も第2次募集を終わって、草の根の組織づくりや支援の活動をしている。さらに、大震災時の一時避難所自主運営体制づくりにも、防災安全部の要請があり、地域で組織化し、訓練も行っている。しかし、この活動の中心の女性の皆さんの様子が非常に疲れていることが心配である。

大きな問題点は、若手の女性あるいはやる気のある男性方になかなか参加してもらえないことである。本市も今後さらに高齢化が進むという見通しがある中、最近の市民社協の事務所移転問題に見られるように、主人公であるべき市民や、ボランティアとして地域福祉の一端を第一線で支えている協力者の都合などが十分に吸い上げられていない。市当局がどれだけ熱心にこのことを考えているかが伝わってこない。

外郭団体のやっていることとはいえ、市民社協のお客様は13万5千人の武蔵野市民そのものである。最近の市当局の論調は自助・共助の言葉を安易に多用しているが、事務所移転問題についても、市の遊休地の活用を英断するなど、ちゃんと考えてほしい。

#### 【市長】

このテーマについては、他にもいろいろな質問があるかと思いますが、大きなテーマで



ございます。1つは、地域福祉の大切さということです。様々な福祉サービスについては、市が責任を持って行うと同時に、やはり地域で支えていくことも大きな柱でございます。例えば災害時の要援護者支援事業については、地域社協の皆様方にご苦勞をおかけし、地域でのネットワークを構築していただきました。

今後も地域での様々な繋がりを大切にしながら、地域での支え合いのネットワークを広げていただきたいと思います。ご指摘のとおり、現在の担い手の方が高齢化する一方、若い担い手が入ってこないということもありますので、これは市としても大きな課題だと認識をしております。

来年度は地域福祉計画を策定する時期であり、現在、その策定の方法も含めて内部で議論を始めたところでございます。そこでも、今後の地域福祉のあり方を徹底して議論していきたいと考えています。市としては、いろいろな場面を通じて、ぜひ若い人も参加をいただけるように、いろいろな形で支援をしてみたいと思っています。

次に、社協の移転問題ですが、現在、検証委員会がスタートしています。ご指摘のとおり、特に市民社協というのは市民と密接な関係を持つ組織であり、地域社協の活動を支える大きな母体でございます。その社協の拠点というのは地域福祉の拠点にもなり得ると考えておりますので、丁寧な議論をしていきたいと考えています。

### **3. 商業地域における高層住宅建築について**

#### **【ご意見】**

吉祥寺本町に住んでいる。私の住んでいるところは商業地域から準商業地域の境目あたりのところで、かなり前から住宅から商業地域ということで、高層住宅が建ち始めている。つい最近も、私の家の前に8階建てのマンションが建つという話が持ち上がった。普通のその辺の建物は全部4階ぐらいまでだが、8階でも一応は適法ということらしい。

仕方ないことかもしれないが、敷地としては非常に狭いところに、8階や10階建てのマンションが建っていくが、商業地域として開発するということではなく、お店は、大体3階ぐらいまで、どちらかというマンションとして建っている。そうしないと採算が合わないとも聞いている。

そうなると、商業地区という指定をしても、実際は商業として栄えるという地区でなく、非常に質の悪い鉛筆ぐらいのマンションがたくさん建つような感じになってしまう。市の協議会でもいろいろご苦勞なさっていると思うが、何かいい方法はないのか。

例えば、商業地区の指定をやめて準商業に戻しても、3階、4階のお店はつくれるので、もう少し抜本的な対策を検討できないのか。簡単に実現するとは思わないが、そういった法的な検討について、準商業から商業にするのとは逆方向の都市計画になるので、市長の考えやその辺の検討をお願いできないか。

#### **【市長】**

大変難しい問題ですね。商業地域というのは、商業活動のために用途地域を指定しているということでございます。ご指摘のとおり、本市の場合は、商業地域と住宅の専用地域が極めて近接しているということから、近接部での課題が出ています。

そこで、用途地域だけではなく、その町全体の方向性をきちんと議論するための計画が「都市計画マスタープラン」になります。現在、見直し作業をしており、ワークショップ等を行い、多くの意見をいただきました。その中でも、例えば商業地域でも住環境にある程度配慮していくとか、その方針は、次の計画の中で設けられると思っております。



また、市では、「まちづくり条例」という制度をつくりました。これは地域の皆さんが相談をし合って、地域のまちづくりのルールを決めることができるというものです。現実にはなかなか難しい面もございますが、皆さんで独自のルールをおつくりいただき、まちづくりを進めていくというものです。

市としても、こうした取り組みを行っておりますので、皆さんもぜひご活用いただくとともに、日ごろからの様々な開発活動について、ご関心を持ち、いろいろな意見をいただければありがたいと思っております。

#### **4. 本町コミセンの建て替え、下水道からの臭いについて**

##### **【ご意見】**

吉祥寺北町に住んでいる。本町コミセンについて、場所はとても便利なので使いたいが、エレベーターもないし、車いすが入らないので、車いすの方が使えないので困っている。それから、あそこは古いのでいつも下水の臭いがしている。もう建て替えるしかないのではないかと思う。

##### **【市長】**

吉祥寺のヨドバシカメラの東側に本町コミセンがございます。大変駅から近いので、利用者の数も多いのですが、中央コミセンと同じようにエレベーターが設置できません。何とか他の施設と合築をして建てかえられないかなという考えを持っておりました。

ご指摘のとおり、ヨドバシカメラの東側に大きな駐車場があり、その駐車場の敷地とコミセンとを一体的に、共同ビル化できないかということについて、以前、地権者の皆さんと相談をした経過もございますが、なかなか意見が一致できずに、共同ビルの計画はストップしている状況です。現在の場所では建て替えが難しいので、周辺の共同ビル化も含めて、よく検討していきたいと思っております。

下水の臭いの問題については、いろいろご指摘をいただき、市としても、懸命に調査いたしました。理由の1つとしては、各ビルの下水を少しためておくピットに汚れがたまっていることです。ピットを清掃していただくよう各ビルのオーナーにお願いしていますが、清掃が義務化でないことから、なかなか取り組みが遅れている状況です。しかし、地域の商店街の皆様方にご協力いただきながら、各ビルでのピット清掃を徹底してもらうことによって、少しでも臭いのしないまちにしていきたいと思っております。

## 5. 市の健全な財政、市民による公園の花植え、地中にある防災用の水タンクについて

### 【ご意見】

吉祥寺本町に住んでいる。やはり市の基本は財政だと思う。市民は支出に関する要求ばかりなので、市長は収支のバランスをよく見て、検討していただきたい。

あと、武蔵野市には小公園を含めて150カ所以上あると聞いている。うちのそばの公園では、利用者や市が花壇に花を植えている。非常にリラックスするので良いことだが、財政の方から考えて見ると、花壇の一部でも、利用者が自由に花を植えられるようにできないものか。目に見える道路側の花壇は専門の人に任せて、奥の方は市民で自由に花を植えられるような方式を考えていただけないか。

最後に、今、100トンのタンクをどんどん埋めている。大災害用に埋めていると聞くが、実際に関東大震災クラスの地震が来たら、それを動かす人、それからポンプ、機械、それが果たして働くのかどうか。私は無理だと思う。消防団の人は地元に行くけれども、自分の家が燃えているのに人の家を消す人もいないだろう。それなら、いつ使うかわからないタンクを作るより、防災基金を設けて、いざという時に使用することも考えられないか。

### 【市長】

まず、財政の問題につきましては、市では、無駄遣いを徹底してなくすということを方針として持っています。市の一般会計が約560数億の予算ですが、6割強が市民税になります。今後、皆様の給与所得等も下がってくるとなると、同時に市民税の収入も下がってくる可能性もあります。

一方、支出については多くの課題があります。その中で老朽化した施設等に対する都市のリニューアル化はひとつの大きな課題であり、そのために、毎年現在行っている事業を精査し、無駄のない事業を進めていきたいと考えています。そして、無駄を削減して得られた財源につきましては、新たな皆様方の要望に応じていきたいと思っています。

次に、公園については、市内には、160数カ所の市立公園がございます。それに加えて、井の頭公園、武蔵野中央公園、小金井公園など都立の大きな公園がございます。市内の市立公園については、なるべく地域の皆様方にもご協力いただいております。地域の団体で公園の花壇に花植えをお願いしています。今後もぜひ、地域の皆様方に周辺の公園の管理をお願いするなど、地域の公園として皆様方に育てていただけるような方法を取り組みながら、より充実した施設にしていきたいと思っております。

最後にタンクの件ですが、タンクには幾つか種類がございます。1つは防火水槽で、火災時にその防火水槽から水を得て消火をするというものであり、必要な範囲で一定程度設置をしております。

次に雨水貯留浸透施設で、主に水害対策等の解消を目指して、各小中学校の校庭に大規模な雨水貯留浸透施設を設置しております。これは、例えば小学校の敷地に降った雨はすべてそこに溜めて、じわじわと地下に流していくという方式でございますので、無駄がなく、環境にもやさしい取り組みだと思っております。

さらに、非常時の飲料水用のタンクということもございますが、飲料用の貯水タンクについては、防災部長から説明いたします。

基本的には非常時にも対応できるようなものを考えております。また、防災井戸というのもございまして、防災井戸の活用のためにも、自家発電を設置して、非常時に対応できるよう、基本的な取り組みをしているところでございます。

#### 【防災安全部長】

飲料水用の貯水施設ですが、南町防災広場、吉祥寺西公園、境南町の防災広場、吉祥寺南コミセンの南側の広い公園に、計4カ所設置してあります。

ご質問の中にもありました、緊急時については、市の職員がすべての地域に満遍なく配置することは難しいことから、例えば南町コミセンの南側では、南町防災ネットワークあるいは南町コミセンの方々に、実際に設置・運用ができる訓練や説明会を開催するなど、防災コミュニティの観点から、地域の皆様のご協力をお願いしているところでございます。

#### 【市長】

貯留施設は、常時100トンの水が溜まっているというのではなくて、タンクの中を常に水が循環しています。防火水槽については、消防上必要なものであり、必要な地域には設置していかなければいけないと理解しているところでございます。

#### 【ご意見】

大きなタンクが地中にあると、地震が起きた場合に、中で水が波打ち、その振動で震度3のものが、4とか5になる可能性もあるのではないかと。

#### 【市長】

技術的なことはよくわかりませんが、基本的には、耐震構造されたものですので、それほど大きな被害にはならないと思われませんが、もう1度整理をしてお答えします。

## 6. 地域活動の担い手、災害時要援護者支援について

#### 【ご意見】

吉祥寺本町に住んでいる。武蔵野市は、例えば日赤奉仕団、民生委員、保護司、防災推進員、青少協地区委員、環境美化推進委員など、国や都や市から委嘱された団体が幾つもあるが、なかなか手がいない。本当に必要ならば、市でもう少し何か仕掛けをしてほしい。市報に初めて青少協委員のことが出たが、非常に役所的な解説だった。市民がボランティアでやっている団体だということを知りやすく解説し、十分にこの人たちが働けるような費用も出してほしい。

それから、吉西福祉の会では災害時要支援のモデル地区を引き受けた。それで、安否確認の情報を誰に渡すのか、ということも全てこちらで考えなければならないので、非常に苦労している。20カ所つくらなければいけないのに、まだ4カ所しかできていない。

これをつくっておくと、いざ災害があったときにはお互いに助け合うこともできるが、準備をしていなければ、それはできないと思う。

そのために、これを立ち上げた3人で、町中を歩いたとき、非常にやる気がある人はいるけど、やる気がない人の方がどちらかというと多かったと思う。

こういったことが本当に必要ならば、市でも、きちんとそれなりの立ち上げ方をして、市報でも、ちゃんと公募していただきたい。民生委員や保護司は守秘義務があるから、無

理かもしれないが、他の団体はできると思う。安心・安全のまちづくりをするためには、この人たちが先頭に立ってもらわないとできないと思う。

#### 【市長】

吉西福祉の会の皆様方には、災害時要支援事業のモデルを始め、いろいろご協力いただき大変感謝をしております。新たなことを始めるには、大変ご苦勞をおかけすることと、私も認識していますが、防災安全部長が申したとおり、緊急時に市の職員がどれぐらい行けるかという、なかなか厳しいです。現在、市内在住の職員は23%しかおらず、きめ細かく満遍なくすべてに対応できるような体制はなかなか取れないので、地域の皆様方のお力を得ないといけないと思っております。

現在、地域活動に参加いただける方が広がっていかないということに関しましては、市のPR不足というのがあるかもしれません。今後も、市報に限らずいろいろな情報媒体を使ってPRを進めてまいります。

同時に、地域の皆様方にもいろいろな団体についてご承知おきいただき、ぜひPRいただければありがたいと思っております。

いずれにしましても、地域の皆様方のネットワークというのは、不可欠でございますので、ぜひお力をいただきたいと思っております。

### 7. 中央コミセン和室の車椅子での利用について

#### 【ご意見】

中町に住んでいる。一昨年の中中央コミセンでのタウンミーティングでリフト設置の件をお願いしたところ、いち早く実行していただきお礼を申し上げたい。歩けない人にとっては2階へのリフトができたことにより、皆さんと同じように会に参加できるようになった。

それでもう1つお願いがある。2階に上がったところの和室について、車いすだと上がれない。段差もほとんどないので、ほんの一部でいいので、板みたいな敷物などを置いて上げられるようにしてほしい。

福祉都市を宣言している武蔵野であればこそ、そういうことも実行していただけると、本当にとってもありがたい。

#### 【市長】

コミセンでそういういろいろな課題をご相談いただき、市に要望いただければ、可能な部分については予算化をしていけるのではないかと考えています。中央コミセンでそのことについて議論があったのであれば、お話しいただければと思います。

#### 【皆藤委員長】

中央コミセンの和室は、大広間からちょっと段差があって、なかなか上がりません。座いすを用意しておいて、支えて上がっていただいたこともあります。車いすの方は座いすを使っていると、万が一のときにはすぐに動けないということがあるので、ぜひ車いすごとと上がらせてほしいというご要望がありました。こちらでも敷物を用意しようとか、そういう話はしており、今度の役員会等で話し合っ解決していきたいと思っております。

## 8. 五日市街道の交通問題について

### 【ご意見】

吉祥寺北町に住んでいる。五日市街道について、約60年前に道路を広くする計画が、やっと実施するようだ。私はもう74歳なので、随分長いことほっておいたものだと、東京都に文句を言った。実は、五日市街道では、港に行くすごいトレーラーが通るが、午前3時半頃、多摩信のところで、トレーラーがすごいブレーキを踏み、何か地震がきたかと思うぐらい大きな音がする。

以前、その場所に午前3時半から5時半まで立ってみると、トレーラーが信号が青になる前に突っ走る。そこで、運転手を捕まえ、ブレーキは丁寧に静かにしてくれと頼んだ。また、交番に行ったが、交番はブレーキのことは言えないということだ。

武蔵野に住んで45年になるが、確かに税金は上手に使っていると感謝している。もう74年、あとわずかなので、せめて交通事故が武蔵野市で起きないことだけをお願いしたい。東京都の特殊車両の許可・認定を行っている道路管理部路政課に電話をし、お願いしている。走ってはいけないと言わないが、危ないことはしないよう、お願いしたいと思うので、調べていただきたい。

### 【市長】

交通ルールを守っての走行であればなかなか止めようがないのですが、丁寧に走っていただく必要があると思っています。夜間はトラックは中央側に寄って走れという表示も幹線道路ではありますので、そういうことも含めて、住宅街を抜ける道路について、東京都とも相談をし、解決策がないかどうか考えてみたいと思います。

## 9. セレモニーホールについて

### 【ご意見】

御殿山に住んでいる。武蔵野市にもそろそろセレモニーホールがあったらいいと感じている。コミセンでは葬儀ができるようになってきている。当時は画期的だったが、30年もたつとコミセンの利用者も非常に増えたため、最近では、せっかくコミセンに朝早くから並べられた方に、葬儀があるために日程の変更や中止をお願いしなければならない状況が、よくある。安心して老いを迎えられるためによりしくお願いしたい。

### 【市長】

葬祭場の問題については、課題であると考えています。現在のところ、市内に民間の寺院等で葬儀場があるということと、同時に公共的にも幾つかのコミセンでは葬儀も可能ということで対応いただいています。

市にももう少し広い土地、広い場所があれば、そういう問題も解決できるかもしれませんが、セレモニーホールが隣にあってもいいという地域を探すのはなかなか難しいのではないかと考えています。

今後、第五期の基本構想・長期計画において、これからどんな施設を公共として用意すべきなのか、あるいはそれは民間にお願いして公共が支援すべきなのか、公共施設のあり方について、しっかり整理していきたいと思っております。

### (3) 第2部「各世代の居場所づくりと住みよい環境づくり」をテーマにした意見交換（要旨）

#### 1. 泉幼稚園跡地利用について

##### 【ご意見】

御殿山に勤務している。泉幼稚園跡地について、市ではそこをどのような形で居場所化しようとしているかというのを伺いたい。

私たちは御殿山コミセンで、そこに集う幼児・子どもたちと遊んだり、定期的に活動させていただいている団体だ。子どもたちが本当に自由に集える場所として、泉幼稚園跡地はとてもすてきな場所だと思い、今それを考える会というところにも所属している。

元園長の考えでは、いろいろな人たちが集える場所として、高齢者や小さいお子さんと親御さんも一緒に集える、または中高生も自主的な活動ができるという、いろいろな世代が集える場所にということであり、実行委員や市の方も、その考えを受けて動いている。

みんなが顔を合わせ、声かけられるような施設になって、そこからいろいろなものを発信できればと思っている。今どういう状況で進捗しているのかお尋ねしたい。

##### 【市長】

泉幼稚園につきましては、平成18年に幼稚園がなくなった後に、園長先生からも、せっかく幼稚園としてずっと続けていた場所だから、何らかの形で子育て支援、あるいは地域の皆様方の交流ができるような施設ができないかという要望をいただきました。同時に、地域のコミセンの皆様からも、子育て支援、多世代の皆様方の交流の拠点としての施設をということで、購入した経過がございました。

市としては、保育園の待機児童対策として、保育園という考えもありましたが、地域の皆様からは、保育園という単独の機能ではなくて、多くの方が交流できる施設ができないかということで、時間をかけてこの土地の利用について考えていくことにいたしました。それ以来、地域の皆様には施設跡地利用を考える会を結成していただき、実行委員会でもさまざまな議論を経て、いろいろな提案をいただいた経過がございます。

市としては、あの土地利用について、調整計画の中できちんと議論をすることを明示するとともに、この3月には「第三次子どもプラン武蔵野」において、泉幼稚園跡地利用施設の検討という事業を掲げ、「樹木や果樹を活かした敷地の中に、泉文庫の図書を活かし、乳幼児とその親、若者や高齢者などの交流ができるひろばをもつ子育て支援施設について検討します。」と明言いたしました。今後は、地域の皆様の議論も踏まえて、市も加わりながら、具体的な施設の建設に向けて議論を深めていきたいと思っております。

ただ、具体的な施設像が描き切れてないことと、いまのままではもったいないと思っており、今年の夏に、暫定利用しやすいような形に整備いたします。当面は24時間開放するわけではありませんが、暫定利用していく中で、土地の利用についても一緒に考えていければと思っています。

## 2. 三鷹駅北口のパチンコ店建設について

### 【ご意見】

境南町に住んでいる。三鷹駅前の北口の大型パチンコ店建設反対について、私も途中から加わり、市長にも調整会等に出させていただき、相当抑えたものになった。

しかし、私はパチンコ店というのは、文化が薫る玄関口には全くふさわしくないと思う。どんなに抑えたパチンコ店でも、パチンコ店には変わらない。大げさに言うと、あそこで雰囲気が一変するのではないかと思う。

次に、真ん前に、タワーズのモデルルームがあるが、12月には壊され、空き地になる。あそこに何かまた建つかも知れない。これからあそこを文化が薫る玄関口にするためにどういう手だてがあるのか。まちづくり条例というのは、今回はある程度機能したが、今後、どういうふうなことを市長は考えているのか。

また、北町の環境を考える会が住民との協議会を設置するという陳情を出して、議会で満場一致で通ったが、それが一向に進展していない。都市マスタープランに任せるというが、結論が出るまでにまだ何年もかかるような話なので、業者たちの動きのほうは早くに早いと思う。それをどういうふうにも阻止するのか聞きたい。

### 【市長】

三鷹駅の北口のパチンコ店に関しましては、本当に皆様のお力があつたからこそ、業者の方も大変配慮していただけたのではないかと考えております。

私としましても、あそこにはパチンコ店はふさわしくないという意見ではありますが、法的にはパチンコ店を拒否することはできませんので、皆様と意見が一致して、業者の方をお願いをした経過もございます。今後は、建設の過程で、実際にどういう姿になっていくのか、大いに注目し、指導していきたいと考えています。

そして、この三鷹駅の北口をもっと文化の薫り高い街にしたいというのは、皆様と同じ思いでございます。現在、都市計画マスタープランの改訂作業をしており、それを踏まえて具体的な次のステップへ進めたいと考えております。次のステップというのは、地域でも地元のまちづくり協議会をつくりたいという話がございます。市としても、共にこれからのまちづくりの母体となる協議会の活動については、大いに関心を寄せており、支援していきたいと考えております。

それからハード面の整備については、3点の課題があります。

1つは、駐輪場など市の所有地について、現在は暫定利用の駐輪場ですが、今後どうやってそれを活用すべきかについては、全市民的な議論が必要だと思っており、これからスタートする第五期の基本構想・長期計画の中でしっかり議論していきたいと考えています。

次に、駅前広場については、バス停の位置を含めて、駅前北口ロータリーのあり方を検討したいと考えています。降車場について、できれば駅前広場に直に降りるような場所にできないかどうか、今実験をしているところで、うまくいくようであれば、若干なりとも歩行者と車の錯綜が解消できるのではないかと考えております。

最後に、三鷹駅北口に降りると玉川上水がありますが、なかなかわかりづらくなっています。玉川上水と三鷹駅の北口は不離一体のものだと思っておりますので、玉川上水の景観



を北口駅前ロータリーにつなげるように整備をしていきたいと思っています。

### 3. 泉幼稚園跡地利用について

#### 【ご意見】

吉祥寺本町に住んでいる。泉幼稚園跡地について、確認の意味合いでお伺いしたい。

実行委員会では、平成23年度に着工して24年度に建物が完成ということで話を進めているが、それでいいかどうか。

それから、建物の着工までの間に市で行われる検討委員会に、私たち泉幼稚園の実行委員のメンバーも加えていただけるのか。こちらとしてはそういう願望がある。

#### 【市長】

泉幼稚園の跡地につきましては、今までの地元の皆様のご提案と、全市的な視点で子育て施設としてどういうものが必要かについて、同時進行で議論をしております。また、公共施設については、これからどのような施設が必要であるかについて、整理しているところでございます。

それらを重ねていく作業として、検討会などを地域の皆様と一緒にやって、具体的な施設のイメージを構築できればと思っています。

工事については、基本計画から基本設計、工事という順番となり、工事だけ先に予定すべきものではないと思っていますので、しっかり議論をした後にきちんと手続きを経て、いい施設づくりができればと思っています。

### 4. 中・高校生の居場所としての泉幼稚園跡地活用について

#### 【ご意見】

中町に住んでいる。高校生と中学生の子どもがいるが、本当に中高生の居場所がない。学校は、放課後部活以外使えないし、図書館では騒いではいけない、コミセンは長い時間は無理で、単に場所を借りるのではなく、自由に来て友だちとしゃべったり、勉強をしたりする場所が本当はない。ぜひそういうところをつくっていただきたい。

質問として、泉幼稚園跡地は子育て支援施設ということだが、それは0歳から18歳まで対象ということでよいか。

それから、人が来ないというような施設には絶対したくないと委員会でも話が出ている。それには運営、ソフト面がすごく大事だと思っている。いろいろうさく言われると、中高生も小さい子ども来なくなると思うので、自主性をもって、自分の責任で自由に遊べるような場所にしたいと考えているが、それにはやはり予算の確保が必要である。

#### 【市長】

施設には、きちんとした維持管理・運営が必要であり、それなりに予算は確保すべきだと思っています。それから、この地域だけの施設であっていいのかという議論もあります。他の地域にはない施設をつくる場合は、市全体の位置づけが不可欠です。

ですので、大変時間がかかっていますが、子どもプランと同時に、第五期基本構想・長期計画の中で、施設の位置づけも明確になってくるのではないかと考えています。

次に、中高生の居場所ですが、私も大変気にはしております。今、全市的な中高生の居場所として、来年7月、武蔵境にオープンする「武蔵野プレイス」を考えています。

地域の中での中高生の居場所については、それはコミセンの役割の一つだと思っております。コミセンは、利用者が増えて大変だというお話もいただきましたが、多くの皆様が利用する施設として、皆様が利用しやすいような工夫が必要ではないかと思っております。

特に吉祥寺西コミセンでは、現在ある学童クラブが井之頭小学校の中に移転しますので、新たなスペースについて、多世代のいろいろな皆様の交流の場としてどう活用できるのかということ、ぜひ前向きにご検討いただきたいと思いますと思っております。

## 5. 吉祥寺のまちづくりと空き家の活用について

### **【ご意見】**

吉祥寺北町に住んでいる。吉祥寺は武蔵野の一番メインのまちだが、急に大型店舗が撤退、改築してしまい、寂しいまちになっている。これに対して、行政は関われなかったのか、それとも調整がつかなかったのか。

また、クリーンセンターの建て替えでタウンウォッチングを行ったが、武蔵野市の中心部であるにもかかわらず空き地や住んでない廃屋が多い。URの新しいマンション、都営住宅、それから、NTTの社宅などでは、多くが空き家になっている。戸建ての家でもひとり暮らしのお年寄りが多くなっている。

吉祥寺は若者が一番住みたいまちだが、家賃が高いから住めない。市として、こういう大事な資産を活用し、若い人たちが住めるようにできないのか。例えば、そういった住宅を低家賃で若い人に貸し、高齢者の介護などの手助けとか声かけをすれば、そういう支え合いの仕組みを考えていけたらと思っている。

これから将来の展望として、ぜひとも若い人を武蔵野に入れないと、将来の財政も見通しは立たないと思う。

### **【市長】**

今、吉祥寺ではいろいろなところで工事が進んでいるということもあって、ご心配をされる方も、もう1つは、何ができるのかなというわくわくするタイプと2つありますが、私は今、まちがどんどん変わっていくということで、わくわくしております。

吉祥寺は、ご存知のとおり、伊勢丹閉店後、いろいろなテナントを誘致し、来月には概ねテナントの構成が決まると聞いております。三浦屋も含め、魅力的なテナントが入ってくるだろうと私も期待をしております。京王電鉄の駅ビルも建て替えがこれから始まり、旧ロンロン、今のアトレもこの9月には全面リニューアルオープンします。新しいテナントが入ってくることで、ますます多くの皆様を楽しめるまちになってくるのではないかと思います。「進化するまち『NEXT-吉祥寺』」という、未来を少し期待させるような、キャッチフレーズで、吉祥寺のまちづくりを進めています。

この夏は、「きちじょうじのなつやすみ」という大きなイベントを予定しております。ミュージシャンやアーティストの皆様に参加いただいて、にぎわいある熱い夏を演出したいと思っておりますので、どうぞ皆様もお出かけいただきたいと思いますと思っております。

次に、空き家についてですが、JRの北町社宅など、移転をして空き家が目立っております。空き家の後の土地利用については、まだ市に情報はいただいておりますが、注視をしていきたいと思っております。

ただ、空き家は多そうに見えますが、人口はこのところ微増しています。今、武蔵野市の人口は13万5,000人ですが、市の予測では、向こう10年ぐらいは少しずつ13万9,000人ぐらいに伸びていく予測をしております。

子どもの数のご心配をいただきましたが、子どもの数も10年ぐらいまでは微増していき、その後、急激に少なくなってくるの予測もあり、なかなか悩ましいところです。例えば保育園の数が足りないからと認可保育園をつくった後に、すぐ子ども減少の予測がありますので、なかなか難しい面がございます。認証保育所だとか幼稚園に延長保育をお願いして保育をしてもらうだとか、いろいろな仕組みを重ねていこうと思っております。

課題として、高齢者の居住問題がありました。私の知っている方も、大きな家に1人2人で住んでいる高齢者の方もいらっしゃいまして、戸建ての家というのは階段があたりして、足腰が弱ってくるとなかなか住みづらいということもあるようです。

そこで、そういう家を若い世代にお貸しいただいて、代わりに高齢の方はバリアフリーの住みやすい、例えば介護付きの住宅施設などに移ってもらう、そんな仕組みができないか、市ではモデル事業的な研究をスタートしております。武蔵野市ならではの取り組みとして、今後よく研究していきたいと思っております。

#### 【ご意見】

今の方が同じようなことを言われたが、にぎやかなまちで高齢化が進み、すかすかになっている部分があるのではないかとということを心配している。

商業地での建物について、実は、吉祥寺でも、伊勢丹とか東急などの大型店以外には、8階建ての高い建物の店はそんなにない。どちらかというと吉祥寺に魅力を求めてくる人たちは、その辺の2階建て、3階建ての特色のある小さな店が好きだという人が来ているということも含め、もう少し柔軟に考えられないものか。

あと、先ほどの方が言われたように、空き家についての実態をどの程度調べているのか。あと20年たてば絶対に空くようなところも結構ある。その辺についてどう考えているのか。

#### 【市長】

空き家そのものの調査は、実はそんなに精度を上げて行っているわけではありません。環境政策課では空き地の管理指導を行っていますが、空き家の詳細な実態把握はしておりません。

ただ、おっしゃられたとおり、場所によっては居住人口がかなり少なくなっているところもあって、それは世帯人員の数自体も少ないし、あるいは場合によっては、一時的にならされているということもありますが、明確に実態把握ができていません。今後、高齢者の居住のあり方、独居高齢者の実態調査等々について、ターゲットを絞ってその辺を少し整理し、状況を調べてみたいと思っております。

もう1つ、商業地域での建物用途のあり方については、確かに課題でございます。商業施設といっても1～2階止まりではないでしょうか。通常は、上の階は住宅機能もしくは

オフィス機能になってくるというのですが、これは国の法制度をそのまま使っておりますので、なかなか難しい問題がございます。

しかし、今まで高密度で可能であったところの容積率を下げる（ダウンゾーニング）ことはなかなか難しいです。所有されている方の中には、土地の有効活用をしようと思っていれば、いつの間にか、突然、容積率を半分に減らしますというのは難しいことですので、もう少し丁寧な議論が必要だと思っておりますし、都市マスタープラン等でまちの方向性を定めながら、徐々にその辺の法制度の見直しが必要だというふうに感じております。

## 6. 住宅敷地内の緑地化について

### 【ご意見】

本町に住んでいる。武蔵野の住宅地を歩いていると、まだまだ広いお屋敷が残っている。それが突然、4軒5軒の建売住宅に変わっている。私が一番気になるのは、建て売りの土の部分が全部コンクリで固められて、緑を植える余地がないことである。

市の建物では、屋上緑化とかされているが、一般の住宅でも、少なくとも土地だけは、土の表面を残しておいていただきたい。雨水浸透ということもあるし、井の頭公園の周りでは気温が1度なり2度なり低いとか、人間にとって緑は大切なものだ。細かい家がたくさん建っていくのは仕方のないことだが、何か条例をつくるとかして、少なくとも土の部分を残していただけたらなと思っておりますので、ぜひお願いしたい。

### 【市長】

大きな敷地が、世代交代もあって分割されるケースが多々見られますが、敷地が狭いと緑を植える部分も少なくなってきました。以前から市では、100ないし120㎡という最低敷地規模を決めており、ある一定程度の緑地化が可能な敷地にしてもらうよう誘導しています。

次に、開発のときに緑を植えてもらうという、緑化率を指定して、例えばその住宅ですと20%以上は緑化してくださいという取り組みを行っています。場所によっては確かにコンクリートで埋められていて、例えばその上にフラワーポットを置いて緑の代わりにすることもありますが。

おっしゃるとおり、私も武蔵野に降った雨は地中にしみ込ませていかなければいけないと思っておりますので、なるべくコンクリートではなく地面を出したり、芝地にするなど緑を植えてもらうような指導をこれからもっと進めていきたいと思っております。

武蔵野市では今、雨水浸透の取り組みを進めております。小中学校で雨水貯留浸透、一旦溜めて、それをじわじわと地面にしみ込ませていく取り組みが進んでおり、公園と合わせて8カ所、4,800トンの貯留槽ができました。

合わせて、これからは地域の皆様のお宅にも、ぜひ雨水浸透ますを設置していただきたいと思っております。ご自身の敷地に降った雨は下水に流さないで、ぜひ敷地にしみ込ませていただき、その水がやがて地下水になったり、井の頭公園の湧水に復活していくということにつながってまいります。補助制度を設けるなど、市でも頑張っておりますので、ぜひ皆様方もお庭に雨水浸透ますを設置いただけたらと思っております。

## 7. 若い世代の社会参加について

### 【ご意見】

中町に住んでいる。若い世代が地域社会に参加できる場を増やしていただきたい。

孤独なのはお年寄りだけではなく、若い世代の方々も結構孤独を抱えている方は多いと思う。私たち若い世代も、いろいろなものに参加していきたいと思っているが、どう参加していったらいいのかがよく分からなかったり、アピールしているのが伝わってこない。

例えば紙媒体だけだと、若い世代の方々は見ない可能性も高いので、携帯電話などを使ったり、あるいは喫煙マナーアップのように、町の中を歩いて若い人たちの参加を呼びかけるなど、おもしろそう、楽しそうというように、若い人たちが興味を持ちそうな形でアピールしていただけたらと思う。



### 【市長】

うれしいご意見です。ぜひコミセンに遊びにきてください。コミセンにはいろんな情報が集まっており、いろいろなイベントもあります。お祭りなどでちょっと手伝いましょうかなんていう話をいただければ、いろいろと役割が回ってくるかと思えます。

なかなかPRの方法は難しいですね。市報というのは月に2回しか発行されませんし、若い人が積極的に見るようなものでもないかもしれません。市のホームページはありますが、情報媒体手段が、大変画期的に進んでおりますので、ツイッターで地域の情報が飛び交うとか、もう少しきめ細やかな情報提供のあり方を検討していきます。

地域では若者を求めています。ぜひお仲間と一緒に来ていただければと思っております。

## 8. ごみの個別収集、戦争体験記録集、道路標示、障害者施設について

### 【ご意見】

吉祥寺本町に住んでいる。私は今70歳だが、昭和20年からこちらに引っ越してきて、65年住んでいる。

最近、良かったなと思っていることは、ごみの出し方である。以前は道路際に出すという仕組みだったので、カラスが散らかすことがものすごく多く、ごみの汚れが多かったが、各家庭の敷地内から出すということになったおかげで、非常に道路や町が清潔になったと思っている。

それから、私は昭和20年、5歳のときに西久保のほうに引っ越してきた。中島飛行機工場が爆撃された最中だったもので、何度か、家からすぐ近くにも1トン爆弾が落ちたこともあった。最近、中島飛行機工場の爆撃を中心に、武蔵野市で1,000部ほど本が出されましたので、早速それ入手して、当時のことを思い出し、感慨深く読んだ。それ



はうちの家宝として、息子や孫たちにも折りがあれば伝えていきたい。

私は小桜通りというすぐ近くの通りに住んでいるが、その道路は20キロ制限で、白線はかろうじて残っているが、20キロという黄色い文字が、全く消えている。車がすごくスピードを出してくるので、幼児とか小学生の子には危ないので、ぜひ書いてもらいたい。

もう1つ、私の長男は今40歳だが、重度の知的障害で、障害者福祉センターのデイサービスで本当に丁寧にお世話いただいている。ただ、武蔵野市には三鷹とか練馬とかにはあるような入所施設がない。将来、本格的な入所施設をつくっていただければ、そういう障害のある人を抱えている親の望みにもなると思うのでぜひ検討していただきたい。

#### 【市長】

ごみの出し方については、評価もいただいている反面、逆の声もいただいています。

以前は、ごみステーションという形で地域の皆様で協力し合って、一定のコミュニティがありました。今はそれがなくなったという話を聞いたばかりでございます。ごみは家の前に出すことによって、自己管理ということもありますが、一方ごみコミュニティというものが希薄になったように言われ、なるほどと感じました。

中島飛行機の空襲については、何回も言っていることですが、市内に中島飛行機という、当時の先端技術工場があったため、米軍の標的になって、B29による首都圏で最初の空襲を受けました。それが昭和19年11月24日だったので、ぜひこの日を武蔵野市平和の日に制定して、この記録、記憶を子どもたちに伝え、そして武蔵野の平和な世界をみんなで考えていこうというメッセージを伝えたいと思っているところでございます。

道路の標示が消えかかっていることにつきましては、現場を見させますので、担当の者に場所をもう1度お伝えください。

それから、障害者の皆様の様々な支援、対応について、障害があろうがなかろうが、この地域で暮らし続けられるということが、私は極めて大切ではないかと思っております。

障害者の皆様の施設整備がなかなか進まなかったということは、確かに認識をしております。ただ、このところ、障害者のグループホーム等も幾つか立ち上がっており、市は支援しております。そういう取り組みもございますので、必ずしも市が直営でつくるという話ではありませんが、必要な施設について、今後よく議論をし、必要な支援をしてまいりたいなと思っております。

### 9. 子どもへの声かけについて

#### 【ご意見】

実は私が、朝早く歩いていると、東急の空き地のところに女の子が6人ぐらい座っていた。帰らなかったのと言ったら、帰らなかったと。何でと言ったら、家がおもしろくないと。それからその子たちとよく話をするようになった。

実際話してみると、子どもたちは話をしたがっているように思う。いろいろ話を聞いてあげることによって、その子たちがいい子になっていくので、皆さんも子どもたちを守るために、ぜひ声をかけてあげてほしい。

ちなみに、最近は学生だけでなく、お母様方のマナーも悪い。私は必ず注意している。

### 【ご意見】

吉祥寺本町に住んでいる。今、若い人たちに声をかけるということに触発されたので、話をさせていただく。

私も第一小学校などにかかわっていて、4年ぐらいになる。にこにこ見守り隊という、朝、大正通りの交差点に7時15分から8時半まで、1週間に1回ぐらい交代で立って、子どもたちが通ってくるのを見守っている。できるだけ安全に通わせるということもあるが、ただ立っているだけでなく、「おはよう」「おはよう」と子どもたちに声をかけて4年ぐらいになる。

おはようと声をかけても下を向いてずっと行くような子が多かったが、4年もやっていると、2割3割の子は逆に向こうから、顔を見ながら「おはよう」って言うようになってくる。学校の先生にも、あいさつというのは心の窓を開くことなのだからという話をしたら、先生方も校長先生もそれを受け入れてくれて、今、入学式などでは、新入生に、3つ守ってくださいっていうことの中に1つに入れている。最近、校長先生が、大正通りはあいさつロードにしたい、と言われ、私は非常にうれしく思っている。

通勤で通る大人も大体決まった時間なので、その人たちにも、おはようございますと目配せをやってると、今は半分以上は何らかの格好で、おはようとかあいさつをしてくれる。

そういうまちというのは、たしか高円寺かなにかの商店街で盛んに一生懸命やっていたら、泥棒などに対しても、おはようとかこんにちはと言われるから、防犯上も非常にいいと聞いた。これはお金は一銭もかからない。皆さんの心がけだけでそういうまちができてくるということを、ぜひ、いい機会だから言わせていただいた。

### 【市長】

ありがとうございます。今、お2人の方からすごくいい話をお聞きしました。やはり、大人が見本を示さなければいけないと思っています。子どもがあいさつしない、子どもに元気がない、これはすべて大人があいさつしない、大人に元気がないことのあらわれではないかなと思います。地域でもなかなか声をかけづらいかもしれません。昨今、いろいろ声をかけても、応えちゃいけないという、そういう子どもたちへの指導も若干あるようです。しかし、地域においては地域のおじさん、おばさんですから、是非子どもたちに温かい声を、時には厳しい声もぜひおかけいただきたいなと思っています。

本当にいい話を聞きました。ありがとうございます。

## 10. 地域社協の拠点について

### 【ご意見】

吉祥寺本町に住んでいる。私はここの地域福祉活動の一員として活動しているが、本町在宅支援センターを2階建てにし、その1室を地域社協の拠点に出来ないか。

今はコミセンのお部屋を借りて活動しているが、常時みんなが集まって活動できる拠点が本当に欲しい。武蔵野各地域の方もそう思っており、その声が随分出ていると思う。現在、吉祥寺本町在宅介護支援センターは1階建てだが、前の建物は2階建てだった。在支

が建つときに住民総会として2階建てのをお願いしたが、そのときは、お金がないからということで1階になってしまった。2階建てになればそういう地域福祉の活動が広がるのではないかと。

**【市長】**

地域社協の場所の拠点の問題は、この間、多くの地域社協の皆さん方から提案をいただいております。社協によってはコミセンの一部をお借りして活動されているところもありますが、なかなか専属の場所がないということから、私どもは地域の福祉、地域社協にお願いし出すと言っているわりには、施設的な不足があるのではないかなど、私もそれは認識をしています。新たに大きな施設をつくるのではなく、今ある施設が有効利用できないかというふうに思っているところでございます。例えばこれから、テンミリオンハウス—まだ予定はございませんけれども、テンミリオンハウスをつくるときに、その一部を地域社協の事務スペースに使うだとか、何か複合的な利用が考えられないかなど思っております。

いずれにしても、先ほど申し上げましたけれども、地域福祉計画等をこれから議論してまいりますので、地域福祉の担い手であります地域社協の活動の拠点的なものについて、大いにこれから議論、研究をしていけたらなというふうに思っております。

本町の在宅介護支援センターにつきましては、経緯はわかりませんが、住宅地の中にあるものですから、それほど大きな施設はなかなか難しいのではないかなど思っておりますので、今後、施設の改修だとかそういうときに、より有効的な活用ができるのであれば、それは一つの研究課題かなというふうに思っております。



#### (4) 閉会のあいさつ

##### 【吉祥寺西コミュニティ協議会 羽島 脩一 委員長】

今日は今年で一番暑い日でしたが、たくさんの方にいらしていただき、市長に地域の問題をいろいろお話しいただきまして、みんなが共通認識できたのではないかと思います。当コミセンでも今、地域懇談会とかいろいろなことで地域の皆様と、要はここに日ごろ出てない方も、1年に1～2度出ていただいてこういう意見交換をされており、コミセンだよりでご案内申し上げておりますので、ぜひ参加していただいていたきたいなと思います。それから若い方もというお話がありましたが、なかなかPRの仕方が悪くて申しわけないんですが、ホームページだとか、それからコミセンだより、これでいろんなイベントだとかそういうのをご紹介しております。そういうのを見て行って交流していただければと思います。今日は本当にどうもありがとうございました。



##### 【中央コミュニティ協議会 皆藤 弥峰 委員長】



今年は吉西と中央で共催ということで、私たちも吉祥寺本町のことをじかに聞きしているいろいろなことが勉強になりましたし、いろいろな問題もあることがわかりました。中央コミュニティも地域のまちづくりの役割の一環を担っております。先ほど、声かけというお話をお聞きしまして、中央コミセンにはフラッとロビーに1人で来る方もいらっしゃいますし、お子さんたちもいらっしゃいますので、窓口では今後はそういうことにも心がけて声かけをさせていただきたいと思っております。若い方からもご意見をいただき、ぜひ活動に参加していただきたいと本当に思いました。今後とも両方のコミセンで地域のために頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

##### 【市長】

今日もまた、外の暑さに負けないぐらいの皆様方の熱いいろんな意見を聞くことができました。これは基本として聞きっぱなしにしないということでございますので、今日の見聞も報告書でま



とめて皆様にお戻しします。それからタウンミーティングだけでなく、いろんなところで意見をまた言ってください。私は時々、いろんなところを歩いていますから、つかまえていろんな意見を言っていただいて結構です。それから、お子様方への声かけということも大切なのですが、ぜひ地域の皆さん相互にあいさつできるような、そんなまちづくりを皆さんと一緒に進めていきたいなと思っております。本日は誠にありがとうございました。

2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針(※アンケートでいただいたご意見も含みます)

番号	分類	ご意見	市の対応方針
1	公社・社協移転	<p>福祉公社のおたよりに、福祉公社と社会福祉協議会が平成23年3月31日に賃貸借契約が満了し、武蔵野美装が八幡町に所有する土地に新たに社屋を建設し、両法人はそこで賃借して事務所とすると記載されておりました。何度も読み返しましたが、武蔵野美装と福祉公社は事業の内容が異なります。どうゆう経過でこんな事になったのか判りませんが、福祉公社だけ独立した方が良いと思われませんが、八幡町はよい所ですが、金融機関も少なく公社はとても何かと不便ではないでしょうか？市長様の賢明なお考えでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>(社協)事務所移転問題についても、市の遊休地を英断をもって活用するとか、そのようなことをお願いしたい。</p>	<p>市民社協・福祉公社の事務所移転について、両法人は、事務所移転検証委員会の答申を受け、八幡町に移転する案を撤回し、当面、吉祥寺北町の賃貸物件に移転し、今後も将来の新社屋のあり方を検討していくという案を提案し、両法人の理事会、評議員会で承認されました。</p> <p>市としても、両法人の社屋のあり方は、これからもあるべき関係者間で十分議論する必要があると考えており、その決定を尊重していきます。</p>
2	地域社協	<p>(地域社協について)常時みんなが集まって活動できるその拠点が本当に欲しい。それは武蔵野各地域の方もそう思っているらして、その声が随分出ていると思う。</p>	<p>地域社協は、コミュニティセンターを中心として地域福祉活動を推進し、コミュニティ協議会との交流に努める中で、約半数の地域社協がコミュニティセンターを連絡先や拠点としています。また、市としてもコミュニティセンターにおける地域社協の活動が円滑に行えるよう働きかけを行ってききましたが、設備的不足があることも認識しております。今ある施設などを有効利用できないかといったような事も含め、研究してまいります。</p>
3	地域社協	<p>地域福祉(吉西福祉の会)で子育て支援活動しているが、現在その拠点を西コミセンにお願いしている。その場所とりは当会とコミセンの交渉にまかされている。今後、優先的に使わせてもらえるよう、市の福祉課なり社協なりが、コミセンにお願いのあいさつ等をして戴きたい。ボランティアを精神的に支えてほしい。社協が地域福祉活動の、独自の活動拠点を作るような努力、工夫を。</p>	<p>地域社協は、コミュニティセンターを中心として地域福祉活動を推進し、コミュニティ協議会との交流に努める中で、約半数の地域社協がコミュニティセンターを連絡先や拠点としています。また、市としてもコミュニティセンターにおける地域社協の活動が円滑に行えるよう働きかけを行ってききましたが、設備的不足があることも認識しております。今ある施設などを有効利用できないかといったような事も含め、研究してまいります。</p>

番号	分類	ご意見	市の対応方針
4	地域活動	<p>市民社協、福祉公社の社屋と、今日の会場での中町の若い女性が「地域活動に参加したいが、情報がない」との意見に関連し、ボランティアセンターをぜひ武蔵野プレイスに入れたらよいのではと思います。昔、西尾勝先生がVCM委員長の頃、吉祥寺駅ガード下に事務所があり、多くの人がフラッと立ち寄ったと聞いたからです。スタッフ1人でもと思います。</p>	<p>現在建設中の武蔵野プレイスには、NPO等の市民活動を支援する場として気軽に立ち寄ることができ、打合せや情報収集/相談/印刷等の作業を行えるフロアがあります。</p> <p>また、地域活動、市民活動に関する情報や団体の紹介ファイルなどを設置した情報ラウンジやミーティング等ができるオープンスペースを設け、スタッフが、活動団体やこれから活動を始めたい市民の方のご相談をお受けします。</p> <p>武蔵野プレイスは、図書館・生涯学習・市民活動・青少年活動を支援する公共施設として建設しております。各フロアの用途がすでに決まっておりますので、現在、ボランティアセンターを武蔵野プレイスに移すという予定はございません。</p>
5	地域福祉	<p>災害時要援護者対策事業も第2次募集を終わって、草の根の組織づくりや支援の活動をしている。さらに、大震災時の一時避難所自主運営体制づくりにも、防災安全部の要請があり、地域で組織化し、訓練も行っている。しかし、この活動の中心の女性の皆さんの様子が非常に疲れていることが心配である。(これら地域福祉の活動に)若手の女性或いはやる気のある男性方になかなか参加してもらえないとことである。</p>	<p>吉西福祉の会は、平成19年9月より市内で最初に災害時要援護者対策モデル事業を始め、この事業をきっかけに、第一小学校で一時避難所の運営組織を立ち上げていただきました。この積極的取り組みは、他の地域社協の先進事例となっています。</p> <p>来年度地域福祉計画を策定する予定です。今年度は、その準備期間ととらえており、今後それぞれの地域の課題を探るために、地域懇談会や地域社協との意見交換会を行う予定です。福祉の会の課題である組織の活性化についても意見交換を行い、課題の解決に向けて市民社協、福祉の会と連携して取り組む予定です。</p>
6	高齢者福祉	<p>本町在宅支援の建物を2階建てにできないか。</p>	<p>吉祥寺本町在宅介護支援センターは、小規模で地域に密着し、しかも低コストな施設とすることを目指して近隣の皆様と話し合いながら整備しました。現在のところ2階建てに改修することは考えていません。</p>

番号	分類	ご意見	市の対応方針
7	高齢者福祉	<p>武蔵野市の介護保険施設の充実を念願する。独自施策の「地域連携パス」の有効化と、ADL向上の為のデイケアの増設が必要と思われる。現状デイケア利用に3ヶ月待ち状態ではADL低下は間違いない。</p>	<p>介護保険施設の施設整備については、介護保険事業計画に基づき進めています。</p> <p>脳卒中の地域連携パスは、もともと医療機関の診療報酬上の制度ですが、その対象者以上に拡大してより有効に対応していくことを、医療機関とともに進めています。また、認知症については、在宅生活支援のために、医療機関との連携パスを、三鷹市とともに地域独自のものを作っています。</p> <p>デイケアの整備状況については、現在市内を営業区域とする通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション13箇所を把握しています。通常では、あまりお待ちいただくという状況ではありませんが、通所曜日指定や送迎の指定など条件が限られますと、施設によってはお待ちいただくこともございます。空き状況等については、地域包括支援センター又は担当のケアマネジャーにご相談ください。</p>
8	住み替え支援	<p>戸建ての家でもひとり暮らしのお年寄りが多くなっている。吉祥寺は若者が一番住みたいまちだが、家賃が高いから住めない。市として、こういう大事な資産を活用し、若い人たちが住めるようにできないのか。例えば、そういった住宅を低家賃で若い人に貸し、高齢者の介護などの手助けとか声かけをすとか、そういう支え合いの仕組みを考えていけたらと思っている。</p>	<p>子どもの独立などによって現在の住宅が広すぎて管理が困難となった高齢者の住宅を、子育てのためにより広い住宅を求めている世代に貸し出す「住み替え支援事業」について今年度検討を進めています。</p>
9	保育サービス	<p>武蔵野市は、若い家族にとって住みにくいところだと思います。保育園の待機幼児が多いのも問題の一つだと思います。</p>	<p>平成22年度の待機児童数は81名で、昨年度79名から微増の状況です。</p> <p>昨年度に認可保育園(96名定員)を1施設、今年度は4月に認証保育所(30名定員)を1施設新設整備し、家庭福祉員も1名増員しましたが、待機児童の解消には至っておりません。待機児童の状況を見ると、その8割以上が0歳児から2歳児となっています。今後も待機児童の状況を見ながら、比較的短期間で整備できる、家庭福祉員の増員や資格を持つ方が数人で保育を行う「グループ保育」などを検討、実施するなど様々な手法で取組をしていきます。</p>
10	泉幼稚園跡地利用	<p>泉幼稚園跡地について、市ではそこをどのような形で居場所化しようとしているか。</p>	<p>第三次子どもプラン武蔵野の中では、全市的な公共施設の配置の視点到に留意しながら、「樹木や果樹を活かした敷地の中に、泉文庫の図書を活かし、乳幼児とその親、若者や高齢者などの交流ができるひろばをもつ子育て支援施設について検討する」と明記いたしました。今後も地域の皆様の議論も踏まえて検討していきます。</p>



番号	分類	ご意見	市の対応方針
11	泉幼稚園跡地利用	(泉幼稚園跡地に建設される)建物の着工までの間に市で行われる検討委員会に、泉幼稚園の実行委員のメンバーも加えていただけるのか。	これまでも地域の実行委員の皆様とは意見交換をしてきています。全市的な視点から見た場合、どのような子育て支援施設が必要かといった議論や、今ある公共施設について市が整理を進めていることなどを重ね合わせたうえで、地域の実行委員の皆様と、検討の機会を設けることができたらと考えています。
12	泉幼稚園跡地利用	泉幼稚園跡地を帰りに見て来ましたが、あの広さであれもこれもとマルチな用途にするのは無理だと思いました。一番若い子の役に立つ保育園にするべきだと思います。若い夫婦が住むようにもなります。不要になったらまた目的を変えたら良いのではないのでしょうか？	第三次子どもプランの中で明記したように、子育て支援施設として検討を進めていきたいと思っています。
13	青少年の居場所	本当に中高生の居場所がない。学校は、放課後部活以外使えないし、図書館では騒いではいけない、コミセンは長い時間は無理で、単に場所を借りるのではなく、自由に来て友だちとしゃべったり、勉強をしたりする場所が本当にない。是非そういうところをつくっていただきたい。 泉幼稚園跡地は子育て支援施設ということだが、それは0歳から18歳まで対象ということでしょうか。	第三次子どもプラン武蔵野の中では、全市的な公共施設の配置の視点到に留意しながら、「樹木や果樹を活かした敷地の中に、泉文庫の図書を活かし、乳幼児とその親、若者や高齢者などの交流ができるひろばをもつ子育て支援施設について検討する」と明記いたしました。今後も地域の皆様の議論も踏まえて検討していきます。 また、中高生の活動拠点(居場所)が社会的にも必要とされている現状を踏まえ、武蔵野プレイスにその機能を持たせます。現在建設中の武蔵野プレイスでは、青少年が優先的に使える「サウンドスタジオ」や「パフォーマンススタジオ」、「クラフトスタジオ」(以上有料)をはじめ、事前予約不要で利用できる無料のオープンスペースとしての「スタジオラウンジ」や自主学習ができる「スタディコーナー」などもあります。 コミュニティセンターについては、多世代が集まる多目的施設です。中高生もぜひ利用していただきたいと思っています。また、利用に際してご意見等ありましたら、センターを運営、管理しているコミュニティ協議会に直接ご意見をお寄せください。いただいたご意見を管理、運営に反映できるよう努めてまいります。

番号	分類	ご意見	市の対応方針
14	緑化	<p>市長からは20%の緑化率を指導しているとの話を伺いましたが、指導というのはどういう強制力があるのでしょうか？その緑化率が実現されていないというのが、現実です。指導しているから、というだけでは満足ではありません。</p>	<p>大規模開発事業等を対象とする武蔵野市まちづくり条例においては一定の罰則規定がございますが、小規模物件を対象とする武蔵野市緑化指導要綱においては、罰則等を伴う強制力がないのが現状でございます。</p> <p>民有地の緑の保全や創出については行政の介入や規制、制限などを強化する施策だけでなく、緑に対する市民理解を高めるための支援や誘導等の施策を総合的に展開することが大切であると考えています。</p> <p>今後も緑に関するイベントや講座など啓発活動とともに広くPRや広報、指導強化に努めます。</p>
15	公園	<p>(公園の花壇について)目に見える道路側の花壇はそういう専門に任せて、奥のほうの花壇は市民で自由に花を植えられるような方式を考えていただけないか。</p>	<p>市では現在165の公園があり、そのうち23の公園において、21の緑ボランティア団体が活動しています。緑ボランティア団体は、市内の団体であり規約があること、市と協定を締結していること、原則10人程度以上であること等の要件があります。今後さらに多くの公園に地域の方々との協働を進めてまいりたいと考えております。</p>
16	空き地・空き家	<p>空き家についての実態をどの程度調べているのか。</p>	<p>空き地は、雑草や灌木の繁茂による迷惑防止の観点から、年1回市内を調査しており、概ね高さ1mを超える管理不足の土地に対し、適正管理を励行するよう指導を行っています。その際、外見で空き家らしき建物で、樹木の繁茂など管理不足が判明すれば、空き地と同様に指導しています。市内での空き地空き家の把握件数は概ね200件、50件ですが、適正に管理されている土地や空き家は件数に含まれません。</p>

番号	分類	ご意見	市の対応方針
17	環境	<p>憧れの吉祥寺に引っ越して、非常にがっかりしたことは、吉祥寺駅公園口から続く繁華街の不衛生さです。新宿歌舞伎町をそのまま移動させたような場所で、とても住みよい環境どころか、恥ずかしくて隠してしまいたい場所です。しかも、さわやかな朝なのに、生ゴミが散乱し、カラスがたかっている状態は何とかならないのでしょうか。</p>	<p>吉祥寺駅公園口(南口と推察しますが)の繁華街の全体的な雰囲気については、街の形態や道路事情などで統一性が取れない難しさがあります。整然としない街並みであっても、違法行為がなければ指導要請の範囲で対処することになります。個別具体的なご意見がございましたら、その都度対応いたします。</p> <p>&lt;カラスについて&gt;  吉祥寺駅公園口は深夜まで営業する飲食店が集中し、発生した生ごみを閉店後に店外の路上に排出しています。このため夜が明けた早朝に、この生ごみを狙ってカラスが集まってきているようです。ご指摘を受け、9月6日(月)午前5時から7時にかけて市職員が公園口を調査いたしました。当日は生ごみが散乱している状況は確認できませんでした。しかし、これらの事業系ごみを深夜早朝にかけて収集している民間業者の運転手に聞き取り調査を実施したところ、特に6～7月はカラス被害がひどかったとの報告がありました。カラスの繁殖期は3～7月といわれ、特に夜明けの早い6～7月の早朝は人通りも少なく、カラスの格好の餌になっていると考えられます。このため来年の繁殖期にかけては、夜明け前の収集への協力を業者に要請するなどの対策を実施してまいります。</p>
18	環境	<p>商店街を犬の散歩が目立ちます。マナーが悪い方が多く、おしっこしてもそのまま、フンにしても臭いをそのまま、それも店の敷地内です。飼い主がリードで引き、させるようにするのがマナー、もしやむなしの時はきちんと水を流す(ペットボトル)とか、せめて他からいらっしゃる方にもきれいな町というイメージにも必要な事だと思います。</p> <p>①散歩する前にトイレをすませる。②外でのマナー、ルールを守る。③商店街は犬の散歩禁止。</p>	<p>飼い主の方にはマナーアップのパンフレットを配布しています。また、フンの始末について注意を促すための看板を、希望者に配布しています。市としては、市報で定期的にマナー向上の記事を掲載するとともに、飼い主が判明すれば個別指導を行っています。</p> <p>しかし、本来は飼い主のマナーに委ねるべき問題であり、商店街での犬の散歩禁止は難しいものと考えており、以上のPRや指導を継続することによってマナー向上を図ってまいります。</p>

番号	分類	ご意見	市の対応方針
19	環境	<p>うちの近くにおでんの屋台が3台駐車されていて、夕方6時台から9時までの間と、明け方4時ごろ、中古の選挙カーでの出入りが乱暴で、恐ろしいです。朝の6時ごろから1時間近く、目覚まし時計のアラーム音が鳴ったりもしています。木製なので、万が一火災の危険性もあると思います。景観も損ねています。通りがかかる学童たちが、からかいながら、あるいは小走りで通り過ぎるのも気になります。夕方は、女子大生達がアパート1棟隔てただけの道を通り過ぎます。時々近くのアパートのゴミ置き場に、分別しないでビン・缶・ペットボトルを1つの指定ゴミ袋に入れて、捨てているかも知れません。アパートの大家さんが、時々中身をぶちまけているようです。どこで営業しているのか、客がいるのかわかりませんが、もう4年くらい経つのかも知れません。いつのまにか、棲みついています。</p>	<p>法律や条例に基づく、規制や指導の対象となり得るかどうか、現地確認が必要であると考えています。関係部署(ごみ総合対策課等)による状況把握のうえ、どのようなことができるか検討したいと考えます。また、ごみの分別がなされていない状況があり、住所が特定できれば、指導をいたします。</p>
20	緑化・雨水	<p>細かい家がたくさん建っていくのは仕方のないことだが、何か条例をつくるとかして、少なくとも土の部分を残していただけたらなと思っているので、是非お願いしたい。</p>	<p>武蔵野市まちづくり条例及び武蔵野市緑化指導要綱により、開発や建築等の機会を捉え、敷地の緑化について協議、指導を行っております。まちづくり条例に該当する事業については、敷地面積の20%の緑化及び雨水流出抑制施設の設置を求めています。</p> <p>減少傾向にある民間の緑をできる限り民有地の中に保存されるよう、特に既存の樹木や緑がある場合には、その保全について協力いただくよう協議・指導をしています。</p> <p>民有地の緑の保全や創出については行政の介入や規制、制限などを強化する施策だけでなく、緑に対する市民理解を高めるための支援や誘導等の施策を総合的に展開することが大切であると考えています。</p> <p>また、各家庭への雨水浸透施設設置促進を図るため助成制度を設け費用負担の軽減を図っているほか、市報やホームページによるPRを行っています。</p>



番号	分類	ご意見	市の対応方針
21	防災	大災害用に(防火水槽を)埋めていると聞かすが、実際に関東大震災クラスの地震が来たら、それを動かす人、それからポンプ、機械、それが果たして働くのかどうか。	防火水槽については、震災時における消火栓使用不能時のみならず、通常の火災時にも利用するため整備を進めており、消防署及び消防団がポンプ車で防火水槽から吸水し、消防活動を行っています。震災時の同時多発的な火災に対応するためには、耐震性の高い防火水槽をより有効に活用することが求められています。震災時の対応を市の職員をはじめ、消防署及び消防団で全て対応することは困難と思われるので、地域の住民の協力を得ながら防災のコミュニティ力を高めていきます。
22	防災	(防火水槽について)大きなタンクが地中にあると、地震が起きた場合に、中で水が波打ち、その振動で今まで震度3でおさまっているものが、4とか5になる可能性もあるのではないかと。それを市の広範囲に設置した場合、どうなるのか。	防火水槽の水の重量と土の重量はほぼ等しく、揺れ自体はほぼ同等と考えられるため、水の振れの影響で震度が高くなることはないと考えています。
23	下水道	(本町コミセンは)古いので下水の臭いがいつもする。	本町コミセン館内の排水設備(トイレ、給湯室等)及び公共下水道管、公共汚水ますの調査を行ったところ異常はありませんでした。臭気も特に感じられず、トイレなども清潔に管理されていました。今後も定期的に点検等を行っていきます。
24	交通	小桜通りというすぐ近くの通りに住んでいるが、その道路は20キロ制限で、白線はかろうじてまだ残っているが、20キロという黄色い文字が、跡が残っている程度で全く消えている。車がすぐスピードを出してくる。何とかそれを書いてもらえたらなと思う。	8月末日までに白線の引き直しと注意喚起の看板2枚の取り付けを行いました。30キロ以下の路面表示に関しましては、警視庁交通規制課の指導により消去をしております。
25	道路	御殿山の上水沿いの道路拡幅工事、ありがとうございます。仮工事と思いますが、車の進入箇所は“ふち石”を低くして、人間の歩くところは何故そのままですか。	御殿山通りは、現在、道路計画に基づく用地買収を進めており、買収が済んでいる箇所は暫定的に整備して開放しています。車や歩行者の進入箇所につきましては、暫定整備の範囲内で段差解消の工事を実施いたします。

番号	分類	ご意見	市の対応方針
26	道路	(税務署近くのガードをくぐった角に)アスファルトの塊がありますが、何の為に置いてあるのでしょうか。	歩道部分と車道部分に段差があり、この段差を解消するために、暫定的にアスファルト舗装を施工しています。本整備の際には、標準構造で施工いたします。
27	交通	(五日市街道を早朝に暴走するトレーラーについて) 走ってはいけないと言わないが、危ないことはしないよう、お願いしたい。	交通違反車両の取締りに関しましては、警察署の管轄になりますが、市といたしましても発見した際には、その情報を警察署に連絡しています。なお、違反車両を現認いたしましたら、即、警察署へ通報していただきたいと思っております。
28	ムーバス	現在の(吉祥寺北口の)ムーバスの待ち合わせ場所は北西、東と、それから三鷹・吉祥寺循環が同じところに、地面にただ行き先が書いてあるレーンの上に人が待って並ぶようになっているが、非常にわかりにくい。大体、乗る人が高齢者と子どもなので、これをもう少しスペースを取って、わかりやすいようにしていただきたい。	6号路線(三鷹・吉祥寺循環/H19.4.1)の運行開始により、吉祥寺駅北口バス停留所に3路線が乗り入れたことに伴い、平成21年3月、道路法や建築基準法など関係法令に抵触しない範囲で、手狭かつ老朽化した既存上屋の1.8倍に相当する大型の上屋を新設しました。 また、各路線への錯誤の少ない乗車誘導としましては、利用者からのご意見を基に、車両にも貼付している行先案内マグネットと同色、同型のものを待機スペースなどの路面に貼付し、バス運転士による行先案内アナウンスと併用して乗客誘導しています。
29	ムーバス	(吉祥寺北口でムーバスを)待っている間も、歩道のところに疲れて座ったり、車道に足を出して座っているお年寄りの方がおり、大変危ないので、イスを設置していただきたい。ロータリーの真ん中でよく音楽祭をやったり工事のトラックがいたりする、マナーポイントの横に広い場所が常に空いているので、その場所を利用できないか。	「吉祥寺北口」バス停は、3路線が乗り入れており、路線毎に区分けした待機スペースもございますので、ベンチなど休憩施設の設置は困難な状況です。また、ロータリー内は消防活動をするための広場として暫定的に整備したスペースです。警視庁と協議の結果、慣例的なイベントに限り一時使用を認めています。現在は、道路の維持管理などに必要な資機材等の仮置場として使用していること、及び当該地への横断施設(手段)がありませんので、休憩施設等への利用化は考えておりません。 ムーバス停留所に近接した歩道上にもベンチがございますので、そちらの利用もご検討ください。
30	吉祥寺のまちづくり	吉祥寺は武蔵野の一番メインのまちだが、急に大型店舗が撤退、改築してしまい、寂しいまちになっている。これに対して、行政は関わられなかったのか、それとも調整がつかなかったのか。	吉祥寺では駅や大型店舗の改修等が同時期に行われていますが、市では、今後とも吉祥寺が多様な世代にとって魅力あるまち、さらに楽しく充実したまちであるよう、「進化するまち『NEXT-吉祥寺』プロジェクト」を策定し、地域に係わる多様な関係主体とともにまちづくりに取り組んでいます。またこの夏はNEXT-吉祥寺活性化イベントとして、「きちじょうじのなつやすみ」も行われました。 なお、ロンロン(現アトレ)は、9月21日に全館リニューアルオープンし、伊勢丹跡地(コピス吉祥寺)につきましても10月15日に109店舗を展開する複合商業施設としてオープンします。ユザワヤの入っていた京王駅ビルについては、平成25年度末に完成の予定です。 進化するまち吉祥寺にご期待ください。

番号	分類	ご意見	市の対応方針
31	商業地域	商業地区という指定をしても、実際は商業として栄えるという地区でなく、非常に質の悪い鉛筆ぐらいのマンションがたくさん建つような感じになってしまう。市の協議会でもいろいろご苦労なさっていると思うが、何かいい方法はないのか。	<p>現況の用途地域は、現在の都市計画法の施行を受け昭和48年に定めたものを基本としています。用途地域を定める際は、駅周辺を高度利用し、段階的に用途や建ぺい・容積率を下げ良好な住環境である低層住宅地に移行するような形態になっています。</p> <p>吉祥寺地域の商業地域は、広域的な中心性を備えた商業・業務地を維持し、都市機能の充実を図る区域となっています。今後も、吉祥寺地域の商業地域については周辺の調和に配慮し、都市開発諸制度等の活用を図りながら、土地の有効利用、老朽化した既存建物のリニューアルを進め、回遊性のある魅力的な商業地域の形成を目指していきます。</p> <p>一方、吉祥寺地域はその利便性や快適性の高さから住宅のニーズが高い地域であり、商業地域にマンションなどが新たに入ってくる傾向があります。駅周辺の商業地域は商業・業務の集積地の機能を高めるとともに、その周辺の商業地域については低層部を商業施設とし、商業・業務地と住宅地が調和・融合した複合市街地の誘導を検討し、進めていきます。そのため、用途地域だけでなく地区計画やまちづくり条例に基づく地区まちづくり計画など地域のルールによるまちづくりの手法を活用していきます。</p>
32	三鷹駅北口	これから三鷹駅北口を文化が薫る玄関口にするためにどういう手だてがあるのか。まちづくり条例というのは、今回はある程度機能したが、今後、どういうふうなことを市長は考えているのか。	現在改定作業中の都市マスタープランの中での方向性を踏まえつつ、地域の方々の意見を伺いながら、地域内の市有地の活用、駅前広場の安全確保、駅前における玉川上水の活かし方等について考えていきます。
33	コミセン	(本町コミセンについて)ビルが建つのでそこに入れるといいなという話があるようだが、よろしくご采配のほどお願いしたい。	隣接する駐車場については、地権者の方との方向性が整わず、単独でビルを建てることとなりました。東部地区全体のまちづくりの中で、コミセンについても考えていきたいと思えます。
34	コミセン	(中央コミセン)2階に上がったところの和室について、車いすだと上がれない。段差もほとんどないので、ほんの一部でいいので、板みたいな敷物などを置いて上がるようにしてほしい。	車椅子の方も和室に上がれるよう、中央コミュニティ協議会において、検討、工夫を重ねていただいております。

番号	分類	ご意見	市の対応方針
35	市民参加	(市の事業に)大学生はどんどん使っていると思います。大学生対象に何か企画してもいいのではないのでしょうか。	市が実施している様々な事業で参加者や、スタッフを募集する場合、特殊なものを除いては年齢等の枠を設けていないものがほとんどです。大学生に限らず、若年層はもっとも行政に関わりが薄いといわれる世代ですが、是非様々な分野で興味関心をもっていただき、協働することが、市政の活性化につながると考えております。
36	市民委員	日赤奉仕団、民生委員、保護司、防災推進員、青少協地区委員、環境美化推進委員など、国や都や市から委嘱された団体が幾つもある。だけど、非常にこの人たちのなり手が少ない。この人たちが本当に必要ならば、市でももう少し何か仕掛けをしてほしい。	各団体の情報を、市報や市民社協の広報紙「ふれあい」や他の媒体を利用して効果的にPRできるように進めていきます。また、地域の皆様方のネットワークを利用して、各団体の担い手になっていただけた方の情報の把握に努めます。  環境美化推進員の方が実施するタウンウォッチング、タウンクリーニング(清掃活動)、市の事業に参加される場合につきましては、従来から使用していた帽子、腕章のほか平成22年度より、蛍光オレンジのチョッキを着用し、興味がある方に活動が目立つようにしました。  また、平成22年2月に策定した「第三次子どもプラン武蔵野」の重点的取組のひとつとして「地域における青少年育成支援と地域青少年リーダー制度の整備」を掲げています。今後、地域の青少年を対象に、若年世代が実施するプログラムへの支援や、地域リーダーを育成する地域ワークショップの開催など、青少年問題協議会とも連携し、地域の青少年の育成活動への参画を促す地域活動への支援を検討していきます。
37	行財政	市の基本は財政だと思う。入ってくるのと出ていくほうで、我々市民は出ていくほうの要求ばかりなので、入りと出のバランスを必ずよく見て、検討していただきたい。	現在の社会情勢を踏まえ、今後も健全な財政運営を維持するために、歳入・歳出のバランスをとりながら、財政の効率的な配分を行い、市民サービスの向上に取り組んでまいります。
38	行政	これからも必要なもの、事はつくり行い、不要なものは廃止し(建物は簡単に作り変えず——財政面考えて)、利用転換を図っていくなどしてほしい。	公共施設配置の在り方検討委員会において、適切な施設の維持管理や統廃合も含めて検討をしています。



番号	分類	ご意見	市の対応方針
39	施設整備	既存市内施設の老朽化が目立ってきました。せめて、使い易い、又は、不便がないように修繕をして下さい。	本市の市有建物のうち、築30年を超えるものが約4割となっています。建物の安全性能や機能維持に係る老朽化・不具合については、平成17年度より計画的に改善を行っています。また、公共施設配置の在り方検討委員会において、適切な施設の維持管理も含めて検討をしています。今後も必要な改修等を行い、既存施設の長寿命化・有効活用に努めていきます。
40	土地利用	三鷹駅平置き駐輪場の土地利用について。 ① タワーズの駐輪場では足りていないと思うので、再びこの施設で利用できるように。 ② 老人施設のみならず、保育室、障害の人が利用できるスペース、イベントでできるスペース(駅前に活性化できるような催しができるように)等々の複合的利用を考えてほしい。 ③ 民間に作らせて、上はマンションにしたりは絶対にしないで欲しい。 ④ 高さはまさか100メートルにはしないでしょね!! 近隣のビルより高くはならないように。 ⑤ どんな施設にするか、市民の意見を多数聞いて欲しい。	三鷹駅北口の暫定利用している駐輪場の土地については、第五期の基本構想・長期計画の検討の中で議論を進めてまいりたいと考えております。  大規模未利用地・低利用地の利活用については、公共施設配置の在り方検討委員会において検討を行っています。
41	広報	(市の活動のPRについて)紙媒体だけですと、若い世代の方々は見ない可能性も高いので、携帯電話などを使ったり、あるいは喫煙マナーアップのように、町の中を歩いていただいて若い人たちの参加を呼びかけるとか、そういった、おもしろそう、楽しそうということで、若い人たちが興味を持ちそうな形でアピールしていただけたらと思う。	市では、携帯電話版ホームページで情報提供を行っています。また紙媒体ではありますが、写真やイラストを活用した「季刊むさしの」を市内の中学生に配布し、市政や地域に関する積極的な情報提供を行っています。  観光情報については、現在携帯電話を活用したムーンナビというサイトにより案内をすることが始まっています。
42	広報	若い人へのアピールをもっと分かりやすくしてほしい。というのは、もっともだと思いました。たとえばホームページのイベントページを目立たせればどうでしょうか。	利用者の立場に立った、わかりやすく、使いやすいホームページでの情報提供に努めていきます。
43	タウンミーティング	テーマ以外の質疑の時間を設けて頂きたい。具体的には「タイムリー」な事項があるときは、検討願いたい。	平成21年度より新たに「青空」タウンミーティングとして、テーマを設定することなく、自由に発言をしていたくタウンミーティングを開催しています。平成21年度では4月と11月、平成22年度では5月に開催しております。

番号	分類	ご意見	市の対応方針
44	タウンミーティング	具体的なもっと突っ込んだ回答や、参加者同士のやりとりがあってもいいかと思いました。	タウンミーティングの会場で回答したのも含めて、各回ごとに報告書を作成し、いただいたご意見については、市の対応方針という形でお答えしています。運営の方法については、今後、検討してまいります。
45	タウンミーティング	(ちらしの)地図がわかりにくい。三鷹駅下車で行く人は特にわかりにくい。	案内の地図につきましては、より分かりやすく作成するようにします。
46	セレモニーホール	<p>そろそろ武蔵野市にもセレモニーホールがあつたらいいかなと思う。</p> <p>旧図書館跡地をセレモニーホールにしてください。</p>	市内には、民間の寺院等で葬儀場があると共に、コミュニティセンター20館のうち、吉祥寺西コミセンを含めた14館で葬儀が可能となっております。公共施設配置の検討を行っているところでありますが、現状で、コミュニティセンターのみならず、民間においても葬儀等で利用可能な施設がありますので、民間と行政の役割分担を踏まえ、新規に施設を作るのではなく、既存施設のご利用をお願いしたいと考えています。

### 3. アンケートでいただいた感想

(※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています)

1	初めて参加させていただきましたが、活発な議論に感心しました。市民の方々のご意見それぞれから勉強させていただきました。
2	参加しやすい雰囲気であった。まあ問題点を市長、部長に理解して頂ければ、上々でしょう。
3	地域の中に沢山の方がそれぞれの立場で活動してくださっていることが分かり、感謝の気持ちでいっぱいになりました。市長さんが丁寧にこたえて下さり、誠意が伝わってきました。ありがとうございました。
4	若い世代の私を温かく迎えて、市長さんとの距離がとても近く感じました。
5	私は、市民ではないため、発言は控えさせて頂きましたが、ビックリしたのが、市民のみなさんの市に対する愛着でした。自分以外のこと、若者のこと、高齢者のこと、色々なことを市民が一丸となって武蔵野市は取り組んでいるのだなと感心しました。
6	今回、初めてタウンミーティングに参加しました。今まで市政に無関心でいたのですが、これではダメと思い、年齢的にもそろそろ市政に目をむけていかねばと思いました。今回参加したのは第1歩としてとても良かったと思います。
7	様々な意見を伺えて、参考になりました！！時間に限りがあると思いますが、市長さんとキャッチボールでの会話が出来たらもっと良いですね。
8	初めて参加しましたが、地元の方々が色々考えていて、とても勉強になりました。

4. 前回タウンミーティング(第13回・第14回)での主なご意見とその後の進捗状況

分類	ご意見(H19.7月、8月実施)	報告書(H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
地域福祉	<p>&lt;市民社協の組織下にある地域社協のあり方について&gt; 地域の福祉活動を充実させるため、地域社協と各コミュニティ協議会と対応し連携を密にすべきである。</p>	<p>コミュニティセンターにおける地域社協の活動が円滑に行えるよう働きかけを行ってきましたが、その活動地域が必ずしもコミュニティ協議会の活動地域と一致していないという状況もあり、うまく連携がとれていない地域もあります。地域社協代表者会議などで連携がとれている事例を紹介していきたいと思います。</p>	<p>来年度、地域福祉計画を策定する予定ですが、今年度から地域懇談会や地域社協との意見交換会を行う予定ですので、その中で検討していきます。</p>
災害時用支援者	<p>地震のような大災害があったとき、私たちのような視覚障害者の世帯を始め、自らの手で脱出することが難しい人々への支援策はどうなっていますか。</p>	<p>市では現在、要援護者の把握と支援をおこなうネットワークづくりに向けて、モデル地区を選定して9月から避難支援モデル事業を行い、地域と関係機関が連携した仕組みづくり・個別の支援プランの策定を進めます。</p>	<p>平成19年度には、2つの地域社協でモデル事業を実施し、平成20年度は新たに5つの地域社協を加え、平成21年度には新たに3つの地域社協で事業を進めています。平成22年度には未実施の3地区に募集を呼びかけすべての地域社協で行う予定です。本事業の推進により、災害時のみならず、日頃から地域の支援者が要援護者との関わりを深め、各地域でのネットワークづくりが広がっています。</p>
高齢者福祉	<p>地域に誰でもが立ち寄れる”しゃべり場”的な居場 10分～15分以内で高齢者が立ち寄れる(ミニミニテニリの)場を。本町2丁目からコミセンは遠すぎるので。近隣同士の助け合いボランティアも可能。</p>	<p>市内には、地域のコミュニティづくりの拠点としてコミュニティセンターが20ヶ所あります。また、高齢者の方が気軽に立ち寄れる場所として、6ヶ所のテニリオンハウスを配置しています。さらに、吉祥寺本町4丁目には「吉祥寺在宅介護支援センター」があり、気軽に立ち寄っていただける喫茶コーナーもあります。テニリオンハウスについては、欠落地域に適当な寄付物件等がありましたら、適宜整備をしていきます。</p>	<p>平成20年10月に市内7箇所目となる高齢者向けのテニリオンハウス「くるみの木」が中町3丁目に開設されました。今後も既存の高齢者施設の配置を考慮しながら、高齢者が気軽に立ち寄ることができ、地域の支えあいの拠点となるテニリオンハウスの整備を進めていきます。</p>
介護保険	<p>介護をする人は介護を受ける高齢者の気持ち大切に介護について研修をする場を市が設定して欲しい。</p>	<p>訪問介護員は、ヘルパー資格等を取得したうえで業務を遂行しており、また、資質向上のための研修等は各事業者単位で行われています。市では、訪問介護事業者連絡会議を設置して、事業者指導を行っています。今後は良質なサービス確保の観点から、コーディネーターやヘルパーの資質向上についての方策を検討すべき時期にあると考えています。</p>	<p>サービス提供の際には、十分なアセスメント後に訪問介護計画書を作成することとしています。研修では、知識技術に偏らず、本人介護者の心理的支援についても重視しています。平成19年8月28日、平成22年1月29日には、『訪問介護計画書の作成』に関する研修会を、平成22年2月26日には、『モニタリング手法とサービス管理及び人材育成』の研修を行いました。</p>



分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
障がい者福祉	<p>高齢者福祉だけでなく障害児福祉も充実させてください。</p>	<p>高齢者、障がい者(児)という枠にとらわれることなく、「どなたも安心して住み続けていただけるまち」をめざして、支援を必要とする方のための福祉という視点で充実に努めてまいります。</p> <p>障がい児の通所施設『ウイズ』が、平成21年度に都営緑町住宅1階への移転を機に拡充の予定です。また療育相談事業『ハビット』との連携強化を前提として、運営法人と障害者福祉課とで内容について検討中です。</p> <p>療育の分野は専門多職種の適切な関わりが必要で、特に医療面の高度な専門性が必要なケースもあります。本市のような規模の自治体で担える範囲には自ずと限界があることについてはご理解いただきたく存じます。</p> <p>平成20年4月、吉祥寺南町に障がい者ショートステイ施設がオープンします。地域に開かれた充実した内容となるよう運営法人と障害者福祉課とで検討中です。</p>	<p>平成21年4月に都営緑町住宅に開設した「武蔵野市みどりのこども館」には、「子ども発達支援室ウイズ」(児童デイサービス)と地域療育相談事業「ハビット」を併設し、7月からは地域開放型事業「おもちゃのぐるりん」(障害の有無にかかわらず未就学児と保護者の方が利用可)も開設し、3施設の連携を図りつつ運営をしております。</p> <p>「ハビット」では平成21年4月より臨床心理士、保育士のスタッフを増やし相談事業の充実を図り、親子通園事業も開始しました。また市内保育園や幼稚園などへの施設巡回や職員研修なども行い、さらに施設内だけでなく、幅広い支援を行ってまいります。</p> <p>平成20年4月に開設した吉祥寺南町の「井の頭はうす」は、市単独ショートステイ事業だけでなく、知的障がい者のための「自立生活体験事業」を実施し、保護者の方と離れて3ヶ月間、将来のグループホーム利用やひとり暮らしのための体験をしていただいています。</p> <p>平成22年4月からは武蔵野市障害者福祉センターを再編。「生活リハビリサポートすばる」に事業を委託し、中途障害者デイサービスや高次脳機能障害者相談事業等の充実を図っています。</p> <p>平成22年3月児童デイサービス「あすは Kids」、4月には障害者福祉センター内に障害児学童クラブ「千川さくらっこクラブ」が開設されました。また平成22年10月には同センター内に未就学児を対象とした児童デイサービスも開設予定で、障害児に対する施策の充実を図っています。</p>

分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
保育園	無認可保育園や認証保育所にも兄弟割引の補助をください。	認可保育園以外の保育施設で保育されている方への市の負担は、東京都認証保育所、保育室、家庭福祉員がありますが、施設に対するものと、保護者に対するものがあり、いずれの施設も保育料は施設が独自に定めております。保護者への補助は年齢により補助額を変えております。	認可外保育施設にお子様を預けている保護者に対し、兄弟割引の補助を行うことは考えておりません。 現在認可外保育施設(認証保育所、保育室、家庭福祉員)へお子様を預けている保護者へは、年齢に応じ助成金を支給しています。前述した施設以外の認可外保育施設(いわゆるベビーホテル)は助成金の対象外となっています。今後は対象外となっている施設へお子様を預けている保護者へも一定の条件を定めて助成金が支給できないか検討していきます。
保育園	ツインタワーに保育所を設置してください。	市立保育所の設置予定はありませんが、現在事業者が認証保育所の設置を検討しています。	待機児童解消のために、ツインタワー内に平成22年4月から東京都認証保育所「ポピンズナーサリースクール武蔵野タワーズ」(定員30名)が開設されました。
保育園	保育所を増やしてください。	保育需要の動向を見ながら、保育サービス提供について検討していきます。	平成22年度の待機児童数は81名で、昨年度79名から微増の状況です。 昨年度に認可保育園(96名定員)を1施設、今年度は4月に認証保育所(30名定員)を1施設新設整備し、家庭福祉員も1名増員しましたが、待機児童の解消には至っておりません。  待機児童の状況を見ると、その8割以上が0歳児から2歳児となっています。今後も待機児童の状況を見ながら、比較的短期間で整備できる、家庭福祉員の増員や資格を持つ方が数人で保育を行う「グループ保育」などを検討、実施するなど様々な手法で取り組みをしていきます。
子育て支援	小学校卒業までの医療費補助の拡大。	義務教育就学児医療費助成制度は、東京都の制度で、小・中学生を対象に、保険診療の自己負担分の3割のうち1割を助成するものです。児童手当に準じた保護者の所得制限がありますが、武蔵野市では、子育て支援の観点から乳幼児医療費助成と同様所得制限を設けないこととし、助成の範囲は1割で、本年10月より実施を予定しています。	平成21年10月から東京都の制度拡大に伴い、医療保険診療自己負担分の助成を1割から3割に拡大しました。あわせて市独自で、通院における一部負担金相当額についても助成を行い、当初より所得制限を設けていないため、全ての小・中学生の医療費の本人負担額を無料にしました。

分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
児童館	児童館をせめて後3ヶ所作ってください。	児童館は現在1館だけですが。今後のあり方、全市的な展開等については、「あそべえ」「0123子育て支援施設」との関連を整理するとともに、調整計画を策定する中で市民の皆さんのご意見をうかがいながら検討していきます。	平成22年2月に策定した「第三次子どもプラン武蔵野」の重点的取組のひとつとして「西部地域の子育て支援施設の再編」を掲げています。今後、桜堤児童館の果たしている役割を0123施設、認定こども園境こども園(仮称)、地域子ども館あそべえ、武蔵野プレイスなどに移すことにより、全市的に発展的に展開していくことを検討します。
泉幼稚園跡地利用	泉幼稚園跡地、邑上市長の公約でもありますので、是非児童館を作ってください。きちんとした責任を持った専門職の方を入れてください。同時に入学児童の親子や高齢者の方も利用できる複合施設とし、地域のコミュニティの拠点となるものをお願いします。	泉幼稚園跡地につきましては、長年、幼稚園であった歴史を持つ土地であることに鑑みて、子育て支援関連施設として調整計画で一定の方向性を示していきたいと考えています。しかし、中学生の居場所の問題については、「ハコモノ」としての居場所なのか、「地域での役割を担うこと」としての居場所なのか、もう少し研究が必要かと考えています。施設の具体的な内容につきましては皆さんの意見も参考にさせていただきながら、決定していきたいと考えています。	「第三次子どもプラン武蔵野」の中で、「樹木や果樹を活かした敷地の中に泉文庫の図書を活かし、乳幼児とその親、若者や高齢者などの交流ができるひろばを持つ子育て支援施設について検討する」と明記いたしました。今後はこの方向性にに基づき議論を進めます。
泉幼稚園跡地利用	泉幼稚園跡地の問題は、会議(合)を進めながら良い方向付けができてきたように思っていますので、保育園の問題は是非別に考えて進めて欲しい。泉幼稚園の所は野っぱが良いと通るたびに思ってしまう。今野っぱがとても少ない。	泉幼稚園跡地については、長年幼稚園であった歴史を持つ土地であることに鑑みて、子育て支援関連施設として調整計画策定委員会で議論していただいているところです。	
泉幼稚園跡地問題	泉幼稚園跡地利用、全く居場所がない中学・高校生が利用できるようにしてほしい。	中高生の居場所づくりについては、調整計画策定委員会で議論していただいているところです。また、「武蔵野プレイス(仮称)」における青少年の居場所づくりの検討とも併せて研究すべき事項と考えています。	

分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
泉幼稚園跡地利用	建物が出来るまでの間、有効な利用が出来るようにしてほしい。部分的に開放日を作っていただくなど。	暫定利用につきましては、市民の要望等を尊重し、関係部署と調整しながら有効利用を考えたいと思います。	泉幼稚園の跡地利用を考える場として、一時利用に支障のないよう、今夏、必要最低限の整地工事を行いました。今後、その土地を利用しながら、子育て支援施設を中心とした施設について議論を進めていきたいと思います。
小・中学校	<p>小学校のグラウンドを早急に芝生化する必要がある。(効用が多い)地球温暖化にも良い。</p> <p>校庭の芝生化は反対です。利用率低下で本末転倒です。</p>	<p>学校の校庭の目的について、学校教育の一環としては、体育の授業と休み時間での遊びの使用ということになります。学校は非常に多目的に校庭を使っているだけに、使い勝手についても議論のあるところ。また、学校は子どもの教育活動の場ですが、施設開放や防災の拠点という機能を併せ持っており、校庭は、早朝からの遊び場開放、放課後開放、土曜・日曜日の開放、さらに、少年野球やサッカーでの団体使用等々で活用されています。芝生化には、初年度で言うところ3カ月間、また、秋の追いまき(オーバーシード)をする、さらに毎年1カ月ほどの養生期間が必要であり、この間は芝生の上での活動ができなくなります。校庭を全面芝生化した場合、その間の校庭の代替地の確保が大きな課題となります。</p> <p>したがって、教育活動として行う多種多様な運動や遊び、行事などに支障がないこと、また、芝生の養生に要する一定の期間にわたって使用することができなくても、教育活動をはじめとするさまざまな校庭利用に支障がないことを念頭に置かなければなりません。</p> <p>現状では、各学校の自主的な創意工夫で、学校緑化の一環として校庭の一部芝生化を進めています。学校緑化といった場合には、校内の樹木、花壇、ビオトープを始め屋上緑化、壁面緑化など、さまざまな手法が考えられます。一部芝生化であっても、水撒きや芝刈りをはじめさまざまな維持管理の費用と人手が必要になります。学校と地域のご協力を期待しています。</p>	<p>平成19年度より、児童への環境教育、ヒートアイランド現象の緩和等を目的とし、校庭の一部芝生化に取り組んでおります。</p> <p>平成19年度に第一小学校(芝生化面積334㎡)、第三中学校(芝生化面積504㎡)、平成21年度には、第三小学校(芝生化面積455㎡)の芝生化工事を実施しました。</p> <p>ボールを使用した運動や陸上競技、縄跳びなどに支障の無いよう、校庭の周囲の一部を芝生化しております。</p>
中学校給食	<p>中学校給食について。公約の為、実施止むを得ないが、実施前に下記説明を市民に。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>やる理念がない。時代遅れで。</li> <li>費用対効果の説明なし、給食をせずに中学予算を傍らにして、中学生に文武充実な教育をやって欲しい。</li> </ol>	<p>中学校給食については、公募市民も交えた中学校給食検討委員会の提言をもとに、教育委員会で検討いただき、食育を含めてきちんとした中学校給食を導入すべきという方針を出しました。現在は、実施に向けた具体的な計画づくりに全庁を挙げて取り組んでいます。また、中学校教育については、中学校給食の実施も含めて、充実に努めていきたいと考えています。</p>	<p>平成20年11月から段階的に実施してきた中学校給食は、平成22年4月に全6校で実施しています。</p>



分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
中学校給食	<p>中学校給食の開始に伴い、給食費の回収方法はどのようにされるのでしょうか？ 滞納がおこらない方法を当初から行ってください。</p>	<p>給食費について、現在、市内の小中学校では、他市で問題となっている滞納は、ほとんどありません。中学校給食の実施にあたっては、他市の先進事例なども参考にし、よりよい方法を検討していきます。</p>	<p>中学校給食については、給食か弁当かを選べる選択方式にするとともに、給食費も前納方式とし、給食費の納付を、給食を選択できる条件としています。選択制の前納方式にしたことにより、給食費の未納、滞納を防ぐことができると考えます。</p>
学童クラブ	<p>私立小学校に通う児童も学童クラブで受け入れてほしい。 ・同じ条件で市に在住しているのに公立私立で区別する理由がわかりません。 ・きょうだい児の介護などあり、学童がなければ安心して健全な子育てが出来ません。</p>	<p>現在学童クラブは、1学校区に1箇所設置し、各小学校のカリキュラム(授業時間、行事等)に合わせて運営しており、私立小学校に通う児童を受け入れるのは現時点では難しいと考えています。一方、地域子ども館「あそべえ」についても、小学生の放課後や土曜日等の安全な居場所として、全12校に設置しています。その学区の小中学生であれば、私立や国立の小学校の児童も参加できるようになっておりますので、ぜひ「あそべえ」をご利用いただきたいと存じます。</p>	<p>平成21年12月に条例を改正し、市立小学校の児童のみに認めていた入会資格を改めました。平成22年4月1日からは、武蔵野市内に住所を有する、小学校の第1学年から第3学年まで(心身に障害のある児童で市長が別に定めるものにあつては、小学校の第1学年から第4学年まで)の児童についても、学童クラブへ通うことが可能となりました。</p>
学童クラブ	<p>井の頭学童クラブを学校内に移転させてほしい。</p>	<p>第四期長期計画にあるとおり、市では、学童クラブの学校内、あるいは隣接地への移転を検討しております。これに基づき、井の頭こどもクラブについても、学校と話し合いを続けているところです。少人数学級への取り組み等様々な課題もありますが、鋭意努力をしていきたいと考えています。</p>	<p>教育委員会及び小学校の校長先生等にもご協力いただき、平成22年10月上旬に井之頭小学校内に移転する予定です。</p>
青少年施策	<p>学童クラブと地域子ども館「あそべえ」の各指導員は、校庭開放を通じた協力、避難訓練・不審者対策訓練の合同実施など、機会あるごとに連携を図っています。あそべえ(指導員)と学童指導員とお互いの向上のために研修しあい、連携する機会を作らねば。</p>	<p>学童クラブと地域子ども館「あそべえ」の各指導員は、校庭開放を通じた協力、避難訓練・不審者対策訓練の合同実施など、機会あるごとに連携を図っています。また、昨年より、研修についても合同で実施しており、共通認識のもと、児童に対応できるよう努めています。設置場所が学校内にある場合は、お互いの事業を進めるうえでの情報交換や情報共有は図られています。今後も、このような機会を作りながら、連携について調査・研究したいと考えています。</p>	<p>平成22年2月に策定した「第三次子どもプラン武蔵野」の重点的取組のひとつとして「地域子ども館あそべえと学童クラブの連携の推進と運営主体の一体化についての研究」を掲げています。今後、両施設の交流できる時間の拡充や交流イベントの実施等を検討し、活発な交流を図ります。</p> <p>また、小学校区ごとに、あそべえの館長、スタッフ、学童クラブの指導員による研修の実施を進め、両事業に共通する課題に対応できるような仕組みづくりについて、検討します。</p> <p>さらに、連携の強化と機能の充実をより一層進めるために、両事業の運営主体の一体化や、市の財政援助出資団体への委託、委託に伴うあそべえの館長と学童指導員の法人正規職員化などについて研究します。研究にあたっては、「小学生の放課後施策推進協議会」と協議しながら進めていきます。</p>

分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
青少年施策	<p>青少年の居場所は必要だが、ソフト面をきちんとさせてから。  市まかせではなく、市民が運営する。  子どもたちへの対応がきちんとできる専門職員をつけること。</p>	<p>現在、中高生の居場所として中高生リーダー講習会を実施し、様々な地域活動への参加を促し、青少年自身の育ちと自主性を尊重した活動が行えるよう支援しています。現在計画している武蔵野プレイス(仮称)においても、青少年の居場所に当たる部分の企画・運営に青少年が携わるような仕組みを検討していきたいと考えています。</p>	<p>第三次子どもプランにおいて、「地域青少年リーダー制度」の構築を重点項目にあげ、今後、青少年の活躍と成長の場を提供していきたいと考えています。</p>
青少年施策	<p>小・中学校を健全に卒業した子どもたちが”その上のステージ”に力強く上がってめげずに巣立っていくためにも、心の守りどころとなる”たむろする場所”、つらいときに自由に心の中を表現できる場所を作って欲しいです。この武蔵野市が大好きだし、今育てているわが子が成長して地域活動が自然にできるよう、小・中学校で育んだ体験を熟成する場所を作って下さい。</p>	<p>中学生・高校生を対象に青少年リーダーの養成講座を実施し、その修了者には、市内のイベントや保育ボランティアなどに参加いただいています。このような機会を通じて、社会性を養い、地域の一員として活動いただきたいと考えています。</p>	<p>平成22年2月に策定した「第三次子どもプラン武蔵野」の重点的取組のひとつとして「地域における青少年育成支援と地域青少年リーダー制度の整備」を上げています。今後、地域活動に意欲的な青少年に対して、スキルアップや次代を担うリーダーに求められる資質の向上を目指し、よりレベルの高いリーダー養成プログラムを行う地域青少年リーダー制度を整備します。</p> <p>また、平成23年7月に開設予定の「ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス」には青少年の活動を支援するスペースを設置いたしますので、是非ご利用ください。</p>
環境	<p>地球温暖化に対する市の本格的な政策・施策を示すべきと考えるがいかがか。</p>	<p>市は、地球温暖化問題を重点的に取り組むべき課題と捉えています。平成18年4月に策定した環境基本計画に沿って、市民・事業者・市それぞれの活動の中で、環境負荷低減に取り組めるよう支援を行っています。</p>	<p>平成20年11月に第二期環境基本計画を改訂し、二酸化炭素削減に向け、アクションプランを強化しました。現在、第三期環境基本計画の策定作業中ですが、地球温暖化問題を重要課題の1つと捉え、実行性のある施策を検討中です。</p>

分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
環境	<p>市の関連事業者(開発公社...)は、環境経営を強力に推進する必要がある。</p>	<p>事業者の環境配慮行動を促進するため、グリーンパートナー制度を行っており、現在202件の事業者が参加しています。開発公社などの市の関係団体及びコミュニティ協議会などの公共的団体については、23団体が参加しており、このうち、6団体は、組織的・継続的な取り組みが必要なⅡステップの区分に参加しています。なお、開発公社については、東京都環境確保条例による地球温暖化対策計画書制度の対象事業者として取り組みを進めています。また、昨年11月にFFビル3階にオープンした吉祥空園SORAは、武蔵野の雑木林を再現した新スポットですが、吉祥寺の屋上緑化としても注目をあつめ、憩いの場所を提供しています。</p>	<p>環境基本計画に規定されている事業者の環境に対する取り組みを促進するためグリーンパートナー制度を引き続き推進しており、現在、市内の208の事業者が参加しています。平成21年度からは市内中小事業者を対象として、無料省エネ診断や省エネ設備導入に関する融資に対する利子補給を実施し、より実効的な取り組みを行ってもらえるよう、支援を行っています。</p> <p>また、都の環境確保条例が平成20年に改正され、一定規模以上の事業所においては、施設ごとの報告から一体と見なされる事業者ごとの報告へと制度が変更となったため、市の関連施設等についてもより包括的な省エネへの取り組みを、今後も実行していきます。</p>
ごみ	<p>生ゴミを焼かずに堆肥化のシステムを考えてください。</p>	<p>桜堤団地の生ごみを堆肥化し、その堆肥を市内の農業生産者に使用してもらい、生産された農作物は年1回朝市で団地住民に提供されるという、循環の輪ができており、循環型社会のモデルケースとして実施しています。しかし、都市化が進み農地が非常に少ないため、全市的に広げていくことは難しい状況です。</p>	<p>桜堤団地の生ごみを堆肥化し、その堆肥を市内の農業生産者に使用してもらい、生産された農作物は年1回朝市で団地住民に提供されるという、循環の輪ができており、循環型社会のモデルケースとして実施しています。</p> <p>しかし、都市化が進み農地が非常に少ないため、全市的に広げていくことは難しい状況です。各家庭で堆肥化可能な方法を市民団体等と連携するとともに、市としても広報活動をより一層進めます。</p> <p>また、都市部に合う資源化方法について他市との広域的な連携について研究を進めてまいります。</p>
ごみ	<p>可燃ごみの半分近くの生ごみ減量化。市と協働で推進できたら。クリーンむさしの生ごみチーム</p>	<p>生ごみの減量について、市では、水切りのほか、野菜くずを乾燥させたり、ごみを出さない調理方法等の啓発をしています。家庭用生ごみ処理機の購入費補助も行っています。また、クリーンむさしのを推進する会とも連携をとりながら、コンポスターの普及等ごみの減量についての啓発を行っています。</p>	<p>平成19年より市民・事業者・市の三者により構成されるごみ減量協議会を開催し、協議会の生ごみ部会から具体的なごみ減量方策について提言をいただき、生ごみの減量について、市では、水切りのほか、野菜くずを乾燥させたり、ごみを出さない調理方法等の啓発をしています。</p> <p>また、クリーンむさしのを推進する会とも連携をとりながら、コンポスターの普及等ごみの減量についての啓発を行っています。家庭用生ごみ処理機の購入費補助は平成20年度に終了しました。</p>



分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
ごみ	<p>ゴミの量があまりにも他地域と異なります。これは家庭だけのゴミの量のことですか？大型店、コンビニ、大会社はどうなっていますか？委託業者も市役所で代金を払って燃やしていると聞いたことがあります、それはどうなっているのでしょうか。吉祥寺に遊びに来る方も確かに多いですが、その方々のゴミはささやかなように思っております？</p>	<p>都内有数の商業地区である吉祥寺を有する本市は、事業系ごみの排出量が多摩の他の自治体と比較しても高い水準にあり、事業系廃棄物対策がごみ施策の大きな課題となっています。ごみを多量に排出する事業所では古紙類や生ごみの分別資源化等の取り組みにご協力をいただいております。平成14年度に15,820tあったこれら事業系持込ごみは、平成18年度には11,706tで約3割減量しています。市では、今後も引き続き事業系廃棄物の分別・減量・資源化指導に取り組んでいきます。</p>	<p>都内有数の商業地区である吉祥寺を有する本市は、事業系ごみの排出量が多摩の他の自治体と比較しても高い水準にあり、事業系廃棄物対策がごみ施策の大きな課題となっています。ごみを多量に排出する事業所では古紙類や生ごみの分別資源化等の取り組みにご協力をいただいております。平成14年度に15,820tあったこれら事業系持込ごみは、平成21年度には9,785tで約4割減量しています。</p> <p>市では、生ごみ・雑紙の全量資源化を実施してきた事業者とその功績を認定する、ごみ減量資源化推進事業者（ECOパートナー）認定表彰制度をつくり、今後も引き続き事業系廃棄物の分別・減量・資源化指導に取り組んでいきます。</p>
ごみ	<p>ゴミの問題。各戸で集めるのではなく、センターに持ってゆく方が良く、システムを見直してほしい。</p>	<p>ごみステーションから戸別収集に変更したのは、一人ひとりが出す自分のごみに責任を持っていただくことや、ごみステーションをめぐるトラブルを減らすこと等が主な理由です。これにより、まちの美観が向上し、ごみ置き場でのトラブルも減り、ごみの減量・分別についての意識もあがっていることから、現行の収集方法を維持したいと考えています。</p>	<p>ステーション方式では、ごみを捨てた後、分別していなかったり、ルール違反のごみがあっても、誰が出したのか判らないため、そのステーションを管理している方や当番の方が後始末をしているケースもありました。戸別収集にしたことで、ルール違反をする人が特定しやすくなり、個別指導が可能となりました。また、ステーションがなくなったことで、通勤途上の通行人によるステーションへの不法投棄も減っております。</p>
ごみ	<p>「リサイクル活動センター」施設をぜひ作って欲しい。(他の自治体は多くが持っている)</p>	<p>「リサイクル活動センター」の施設整備については、施設規模や設置場所等に課題がありますが、現在ごみ処理基本計画の改定に向けて、廃棄物に関する市民会議が開催されていますので、市民会議での検討課題といたします。</p>	<p>リサイクル活動の啓発施設の建設については、現在「新武蔵野クリーンセンター(仮称)施設基本計画策定委員会」などにおいて、検討しております。</p>

分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
環境	市の施設(関連施設を含む)には、温暖化対応のために壁面緑化をもっと進める必要がある。	市では、緑化推進を指導する上で、屋上緑化や壁面緑化も含め指導を行っていますが、地上部の緑化を重点的に指導しています。壁面緑化は、限られたスペースを有効活用して緑化推進できますので、有効性を考慮した上で、各種条件の整備など積極的に検討していきます。	市有施設での屋上緑化は、本庁舎車庫棟、大野田及び千川小学校、吉祥寺及び境南第二保育園、高齢者総合センター、吉祥寺シアター、商工会館、桜堤住宅駐輪場など計12施設で実施しております。また、壁面緑化につきましては昨年度に引き続き、環境まちづくり協働事業として、本庁舎の東玄関他3カ所、クリーンセンター、温水プールにて、あさがお・ゴーヤ・ひょうたんなどの緑のカーテンを育てています。
喫煙マナー	吉祥寺駅北口バス停前の喫煙場所を移動してほしい。バス待ちの人が間接喫煙となっています。	市内三駅周辺の路上禁煙地区においては、歩行喫煙者やたばこの吸い殻が70%以上減少しています。ご指摘の喫煙場所については、受動喫煙の問題もあることから商店会や市民団体等と行政で組織している「ようこそ美しいまち吉祥寺委員会」において慎重に検討していきたいと考えています。	ご指摘の喫煙場所については、受動喫煙の問題もあることから商店会や市民団体等と行政で組織している「ようこそ美しいまち吉祥寺委員会」において慎重に検討し、マナーポイントを移設・縮小し現在はロータリー内の1箇所となっています。
コミセン	コミセンの活用拡大への調査研究を推進する必要がある。「コミセン特区」を申請して、もっとコミセン機能が高めることをしたい。	コミセンの活用については、来年度以降、コミュニティ市民委員会を開き検討していきたいと考えています。	武蔵野市は、昭和46年からのコミュニティ構想に基づき、自主三原則(自主参加・自主企画・自主運営)によるコミュニティ施策を進めてまいりました。各協議会は、市民活動の拠点であるコミュニティセンターを管理運営することで、市民の自主活動を支え、武蔵野市のコミュニティ施策の重要な役割を担っています。  また、社会状況の変化も踏まえ、節目節目でコミュニティ市民委員会を開催し、コミュニティのあり方等について議論を行っています。さらに、コミュニティ評価委員会では、コミュニティ協議会が行う活動について評価を行い、その結果を活動に反映するよう努めています。
コミセン	中央コミセンエレベーター他昇降するに高齢者は困るのでぜひご検討ください。	中央コミュニティセンターは、3階建てのためエレベーターは必要かと思いますが、建物の構造上の問題と建築基準法の双方で難しい状況です。そのため、別の昇降方法を現在検討中です。	平成21年1月に3階までの階段昇降機を設置し、来館者の方にご利用いただいています。(月平均5～6回)車椅子の方が優先ですが、階段の昇り下りが困難な方もご利用いただけます。

分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
コミセン	コミュニティセンターの「私物化」が目立ちます。もっと通気性のよい運営を！	コミュニティ16協議会から委員が参加してコミュニティのあり方を考える会「あり方懇談会」等で検討していただきたいと思います。	コミュニティセンターを管理運営している16のコミュニティ協議会では、窓口研修会、運営委員研修会等の各種研修においてスキルアップを図っております。また、利用者懇談会等を開催し、広く利用者の皆様からのご意見をいただくとともに、いただいたご意見を運営に反映するよう努めています。今後も開かれたコミュニティを目指してまいります。
市民活動	市民協働サロンは今度市役所に出来たが、吉祥寺地区にも是非設置する必要がある。	NPO・市民活動団体の活動支援を目的にしたサポートセンターについては、今後、武蔵境駅南口に建設する武蔵野プレイス(仮称)内に設置する予定であります。そこで、それまでの間、市民協働サロンがNPO・市民活動団体の活動支援全般を担当しますが、そのサポートセンターが設置された後は、市役所内に有る立地を生かし、市役所とNPO・市民活動団体との協働を推進するためのスペースとしていきます。	平成23年7月、武蔵境駅南口に開館予定の武蔵野プレイス内には市民活動フロアが設置される予定です。駅から徒歩でアクセスでき、広さは市民協働サロンの3倍以上となります。武蔵野プレイスは市全域に及ぶ広域的な知的創造拠点であると同時に、出会いと触発による新しい文化の拠点となることを目指しています。市民活動フロアは、市の市民活動の中心施設として位置づけています。
平和施策	武蔵野からの平和政策をすすめてください！	本市には、戦前、軍需工場である中島飛行機武蔵製作所があったことから、多くの空襲により戦災を受けましたが、本市が歩んできた歴史の中で、軍需都市から平和都市に生まれ変わり、発展してきたことを評価し、平和に向けて発信を続けていくことが必要であると考えております。今年、武蔵野市議会が昭和57年に「非核都市宣言」を採択してから25年という節目の年にあたるため、地域・平和団体の代表と公募市民で構成する実行委員会を設置して、記念事業を実施いたします。8月には、その事業の一つとして、広島・長崎に落とされた原爆の惨状や中島飛行機武蔵製作所への空襲などに関する写真パネル展などを開催しました。	非核都市宣言平和事業実行委員会とともに、平成22年5月には「武蔵野から伝える戦争体験記録集」を発行しました。平成22年度には「平和施策懇談会」を設置し、今後の平和施策について検討を行っています。

分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
まちづくり	街づくりは、必ず市民にきいてほしい。行政と事業主だけで決めないで。	平成19年度における「まちづくり条例」制定に向けて、公募市民、学識経験者等をメンバーとした委員会で検討を行っています。その中で、まちの施設や居住環境あるいは活動環境の整備について、市民・開発事業者・市の三者が協働してまちづくりに取り組むための仕組みを検討しています。その主旨を鑑み、三者で協働して良好なまちづくりを進めていきます。	平成21年度4月に施行した「まちづくり条例」では、昭和46年から運用してきた「宅地開発等指導要綱」の開発事業に係る基準に加え、事業に対して近隣関係住民の皆さんが意見を提示したり、調整会を開催して議論する等の仕組みを規定しました。また、あらかじめ住民の皆さんが地区の街づくりのルールである「地区まちづくり計画」を策定することにより、地区の特性に合わせた開発を誘導する仕組みについて規定しました。
まちづくり	街づくりにもっと関心をもってほしい。(法政跡地、三鷹駅前などの高層マンションなど論外である。「已む無し」という言葉が多すぎませんか)	まちづくりには、法的規制や公平性などさまざまな制約があることから、住民、行政、事業者の話し合いからコンセンサスを得る必要があります。そのためのルール作りとして、まちづくり条例の制定を進めています。	平成22年4月にまちづくり条例を施行し、地区の特性を生かした街づくりを推進するため、地区単位の街づくりを地区住民が計画して、地区の街づくりに反映する「地区まちづくり計画」という条例独自の制度を定めました。また、「地区まちづくり計画」を提案できる「地区まちづくり協議会」についても定めています。
上下水道	さらに魅力ある町作りのために、吉祥寺町中の下水がとてくさいです。清掃が大切です。	臭気の原因となっているのは、地下に設置してあるビルピット(汚水・雑排水を一時溜める施設)から公共下水道へ排水されたときに発生する臭いと考えられます。市では、ビルピットの所有者に対して、パンフレット等で適正な維持管理の啓発を行うとともに、定期的な管渠の清掃を今後とも行っていきます。	ビルピットから発生している臭気を軽減するために、ビルピットの改修費用を一部助成しています。建物所有者、管理者等に臭気についてのPR活動を行い助成金を活用してビルピットの改善にご協力していただき、適正な維持管理をお願いしています。
上下水道	集中豪雨対策は市民の生命、財産に影響ある重要課題 ・雨水放流幹線や分流式は金と時間がかかる。 ・地下貯留槽は現実性ある500㎡クラスでは効果小。05年北町の出水量1万トン貯留するクラスの地下槽を。	1万トン級の貯留が可能となる施設を設置するには、場所・時間・費用等の問題があります。1万トン級の貯留量を少しでも軽減させるため、また、下水道管渠への雨水の流入を少しでも少なくするため、今できる施策として、小中学校への貯留・浸透施設設置事業を行っています。	市内小中学校への貯留浸透施設の設置は計画的に実施しており、今年度は第五小学校に設置する予定で、今年度末には9校5100㎡を貯留できるようになります。



分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
水害対策	<p>昨年の大雨のとき、私の住んでいる北町4丁目の低い土地で、床下5～6cmとなりました。その時、消防車も到着して何も出来ず、備置のポンプも30～40分作動せず、処理の遅さに呆れてしまった。多分、ポンプは20年位前に設置されたもので、メンテはされているのか？又、誰が緊急時に対応するのか全く不明で住民に不安を与えた。</p>	<p>吉祥寺北町4～8の大野田ポンプ所は、都市整備部下水道課が管理しています。ポンプは、雨が一定程度降り、ポンプ所内の水槽の水位が上がるとフロートスイッチにより自動的に運転を開始します。さらに強い雨で水位が上がると、2台目・3台目のポンプが稼働する仕組みになっています。施設の機能を保持するため、年2回定期的に施設点検を行っております。また、大雨や台風の前にも運転状況等の巡視点検を行っております。</p>	<p>大野田ポンプ所は引き続き巡回による運転状況の把握や定期的なポンプの保守点検整備を年2回実施しています。平成21年2月にフロートスイッチを新品に交換するとともに、制御盤のコントローラー(2基)もデジタル式の機器に取替えたため、より確実な運転が可能となりました。</p>
緑・公園	<p>北町3-5と3-4の成蹊通り、今は通り抜け出来ないため、けやきと樺の街路樹の緑のゆったりした空間が残っています。”ととろの森”という人もいます。是非このまま青梅街道につなげないでください。</p>	<p>交通処理機能の確保、都市間の交通ネットワークの形成、防災性の向上や扶桑通りなど生活道路へ進入する多くの通過交通を転換し、歩行者等の安全性を確保することなどから、都市計画道路の必要性は高いと認識しています。また、このような都市計画道路の整備に当たっては、周辺地域の環境に配慮した道路づくりを行います。</p>	<p>市では、当該都市計画道路の必要性は高いと認識しています。このような都市計画道路の整備に当たっては、周辺地域の環境に配慮することが必要なことから、大気質、振動その他の環境に与える影響について調査を進めております。</p>
道路	<p>自転車レーン設置を。歩・輪分割。</p>	<p>市内の道路は幅が狭く、法令や基準を満たす正規の自転車レーンの設置は難しい状況です。しかし、正規なものでなくても、道路に自転車の通行を促すところを明示するなど、自転車の走行環境については工夫をしていきたいと思っております。</p>	<p>市内には、本年4月に整備した境南町の「かえで通り」のような広幅員の道路が少ないため、法令や基準に合致する自転車道等の設置は難しい状況です。三鷹駅北口の「文化会館通り」で試行している路面表示による「自転車通行帯」が、自転車安全利用講習会等による啓発活動の効果もあって、ルールやマナーが自転車利用者に定着してきています。今後も歩行者と車が共存する狭い道路空間において、ハードとソフトの両面から「自転車通行環境の整備とネットワーク化」を検討していきたいと思っております。</p>
道路	<p>住宅街などにおいて、車の通りやすい道より人の歩きやすい路を。</p>	<p>住宅街における道路については、歩行者・居住者が安全で安心に通行できるよう、その地域の実情にあった「みちづくり」を進めていきます。</p>	<p>交通量等が多い住宅地にある生活道路には、警察署と協議して注意喚起を促す看板やカーブミラー等の設置について適宜、検討していきます。</p>

分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
道路	<p>本町2丁目(五日市通りから東急通りの間)道路の舗装完備と下水道の整備をしてほしい。又、この間の自動車の「ぬげ道」利用とスピード規制の方策を。(例えば路上面に凸の部分を作る等)</p>	<p>担当部署(道路課・下水道課)に、具体的に場所をご連絡いただければ、現地を調査し、必要な対応策を講じたいと考えています。住宅密集地における道路への凸部設置は、凸部直近の住民の方が通過車両による振動・騒音の影響を受けることとなり、困難ですが、地域の実情にあわせて、抜け道対策等進めていきたいと考えています。</p>	<p>この地域の下水道管の整備は、昭和46年頃におこなっています。また、下水道管路等の調査・点検を定期的に行い、適正な維持管理に努めています。</p>
道路	<p>市長さんよろしくお願ひします！ ①成蹊大学グラウンドを横断する計画道路の早期開通をしてください。 ②地下道化の話が市のどこかの部署で検討されているなら周辺住民に開示してください。 ③仮設でも良いから人の通れる通路を作ってください。 ④五日市街道多摩信の交差点の混雑が減る。</p>	<p>成蹊学園とは地下化を含め、道路計画についての理解、協力を得るため粘り強く交渉していますが、案については今後詳細に調査検討を行う予定です。通路については、現段階では、仮設でも学園内に設置することは困難であると考えます。また、吉祥寺北町交差点については、東京都で「すいすいプラン(交差点改良事業)」として、渋滞の軽減や、歩行者の安全確保等を目的に、道路拡幅事業を進めています。</p>	<p>市では、大気質、振動その他の環境影響評価を実施することにより、成蹊学園の抱く懸念の払拭に努めております。今後も、成蹊学園の理解及び協力を得るため、粘り強く交渉しています。</p> <p>東京都は、吉祥寺北町交差点について、平成26年度末の完成を目的に、「すいすいプラン(交差点改良事業)」を進めておりますので、今後、渋滞は緩和されるものと考えております。</p>
自転車	<p>吉祥寺駅周辺の駐輪場設置について &lt;前提&gt; ①このエリア内は自転車乗り入れを禁止又は手押し等にして、その周辺に十分な駐輪場を作る。 ②利用料を現状より安くし、また統一して、吉祥寺広域でどこで買い物をしていても例えば500円以上5時間無料等にする。 ③すぐ止められやすい工夫をして、だれでも止める気持ちになる駐輪場にする。 &lt;その他&gt; 現在の検討状況を考えてほしい。(HPで検索したが、あまりのっついていなかった)</p>	<p>①現状では難しいと考えますが、貴重なご意見として、今後の研究課題といたします。 ②一部の大型店では、買い物客用駐輪場を設置しており、買い物をすると料金を優遇しております。公営駐輪場については、一時利用を1回100円としておりますが、商店会との連携については、今後研究していきます。 ③駐輪施設メーカーとも協力し、利用しやすい駐輪施設の設置に努めていきます。 &lt;その他&gt;三鷹駅は、駐輪場が不足しています。吉祥寺駅についても、約2000台程度不足しています。平置きだけの駐輪場は、効率が悪いこともあり、増設に向け、用地の確保に努めると共に、地下も含めた立体利用についても、考えていきます。</p>	<p>②について、平成22年4月に開設された「吉祥寺パーキングプラザ公共自転車駐輪場」では、入庫から2時間まで無料で駐輪できます。これにより、今まで短時間の駐輪であるため、駐輪場を利用していなかった方にも、利用しやすくなるとともに、駐輪場の回転がよくなり、より多くの利用者に対応できるようになりました。</p>

分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
自転車	<p>自転車置き場を増やし、放置自転車問題をよくしてほしい。最近も駅近くで車椅子が歩道を通れない、通れはしてもとても狭く、人の流れが滞ってしまう。中道入り口の自転車は病院搬入時にも問題がある。</p>	<p>吉祥寺駅周辺においては、放置防止指導員の配置や巡回を強化し、放置自転車への啓発や、撤去も今まで以上に行い、対処しています。放置されてしまった自転車については、整理を行い、歩行空間の確保等に努めています。しかし、放置防止指導員の不在時間では放置が急増し、苦慮していますが、今後も駐輪場の増設を進めるとともに、放置対策に努めていきます。</p>	<p>吉祥寺大通り歩道上の駐輪場の閉鎖に伴い、大通り上に放置防止指導員を新たに配置し、放置防止指導を強化した結果、その周辺の放置自転車も減少しております。今後も、より効果的な放置防止指導を検討し、実施してまいります。</p>
自転車	<p>駐輪場をもっと整備するべき。吉祥寺の歩道駐輪場は廃止するべき。中古ビル・マンションを買い取り内部改装の上で駐輪場とすべき。地下駐輪場は、コスト、即効性を考えねば現実的でない。</p>	<p>駐輪場については、三鷹駅に限らず、市内の三駅について大きな課題になっております。今後も駐輪場用地等の確保に努めると共に、現在、平置きになっている既設駐輪場の立体的利用についても、その可能性を含め、大いに考えていきたいと思っております。なお、歩道の駐輪場については、あくまで暫定であり、将来は廃止の方向で考えています。</p>	<p>平成22年4月に商業ビルである吉祥寺パーキングプラザの1・2階をお借りして、公共自転車駐輪場が整備されたことに伴い、平成22年3月末日をもって、吉祥寺大通り歩道上の利用登録駐輪場が閉鎖となりました。今後も武蔵野市三駅周辺自転車等駐輪場整備計画に基づき、必要台数を整備してまいります。</p>
自転車	<p>三鷹駅北口駐輪場を立体駐輪場にしてほしい。一時預かりも満車であることが多い。せめて屋根のある2階建てであれば、もっとたくさん駐輪できる。</p>	<p>確かに平置きですと、利用効率が悪いということがありますが、当該駐輪場については、公共施設としてどう利用するかということも含め、立体化について検討をしていきたいと考えています。</p>	<p>三鷹北口の中町第1、第2の駐輪場については、あくまで暫定利用となっております。土地の有効活用については、次期の長期計画の中で検討することになっております。</p>
自転車	<p>提案1として吉祥寺駅北口バス停上の”ひさし”上に通勤者用の駐輪場を設置。JRと共同開発。提案2として道交法に基づく自転車用標識の設置。道路上に自転車通路を明示する自転車の走る場所を判らせる走りやすい道路構造にする。</p>	<p>(提案1)ご意見として、伺っておきたいと思っております。 (提案2)道路交通法・バリアフリー等の法令・基準を満たす道路については、自転車レーンの設置を促進いたします。また、法令・基準を満たせず、自転車レーン等の設置の難しい道路においては、自転車の走行場所をわかりやすくするような工夫をし、通行区分の明確化を図っていきたくと考えています。</p>	<p>三鷹駅北口武蔵野タワーズ周辺の「文化会館通り」に自転車通路を明示するような、白い破線の路側線と自転車マークの路面表示をしております。</p>



分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
自転車	<p>自転車(放置)について  中道通りで仕事をして  いますが、駅に近いエ  リアは放置自転車が  多く買い物客も多いた  め、歩く人、自転車で  通る人、車椅子の方、  バギーの方が通りにく  い状況です。よくぶつ  かっています。他に駐  輪場をふやしたり規制  を強化し、人に優しく  歩きやすい通りにして  いただきたいと思いま  す。</p>	<p>中道通りにおける放置自転車対  策は、放置防止指導員の配置や  巡回を強化して、放置自転車へ  の啓発や撤去を行っています。放  置されてしまった自転車につい  ては、整理を行い、歩行空間の確保  等に努めています。しかし、放置  防止指導員の不在時間では、放  置が急増し、苦慮しています。市  では、今後も駐輪場の増設を進  めるとともに、放置防止に努めて  いきます。</p>	<p>吉祥寺全体では、昨年より放置自転車の台数  は、5割程度減少しておりますが、まだ特定の  場所・時間帯によっては、放置が目立っている  ため、より効果的に放置防止指導を行ってまい  ります。</p>
自転車	<p>自転車駐輪場をふや  してほしい。三鷹駅に  有人の駐輪場がある  が、あのような設備を  きちんと作って。利用  者は料金をきちんと払  うべき。新築マンション  に頼るべきでない。市  の努力を。</p>	<p>三鷹駅に限らず、市内3駅全てに  おいて駐輪場が不足しており、皆  様にご迷惑をおかけしておりま  す。市では、用地の確保等、駐輪  場の増設に向け努力しております  が、なかなか難しい状況です。今  後も、市の関係各課で連携し、用  地等の確保に鋭意努めていくと共  に、平置き利用をしている既存駐  輪場の立体的利用についても、  可能性を含め、大いに考えていき  たいと思います。</p>	<p>平成22年4月に、吉祥寺パーキングプラザ公  共自転車駐車場(収容台数1,271台)、武蔵野  タワーズ地下公共自転車駐車場(収容台数  1,500台)が、10月1日には、三鷹駅北口第二自  転車駐車場が開設されます。今後も武蔵野市  三鷹駅周辺自転車等駐車場整備計画に基づき、  必要台数を整備してまいります。</p>
自転車	<p>三鷹駅北口駐輪場を  立体駐輪場にしてほし  い。一時預かりも満車  であることが多い。せ  めて屋根のある2階建  てであれば、もっとた  くさん駐輪できる。</p>	<p>確かに平置きですと、利用効率が  悪いということがありますが、当該  駐輪場については、公共施設とし  てどう利用するかということも含  め、立体化について検討をしてい  きたいと考えています。</p>	<p>三鷹北口の中町第1、第2の駐輪場につい  ては、あくまで暫定利用となっており、土地の有  効活用については、次期の長期計画の中で検  討することになっております。</p>
自転車	<p>三鷹北口駅前の違法  駐輪が目立つが、改  善が見られない。特に  白木屋前の通り。改善  を望む。</p>	<p>今年から、特に放置防止指導、撤  去等の強化を図っており、三鷹駅  周辺全体では、放置自転車は減  少傾向にあります。ご指摘の場所  についても、更に、撤去等行い、  歩行空間等の確保に努めてまい  ります。</p>	<p>三鷹駅北口地区については、中央大通り上の  利用登録駐輪場を閉鎖し、放置防止指導を強  化した結果、昨年より放置自転車は半減して  おります。</p>

分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
自転車	<p>中央通りストアー前の歩道ですが、市の駐輪車とストアーに買い物に来た自転車で歩道がふさがれています。</p> <p>両方の自転車がお互いにお尻を向けていますので歩道が極端に狭くなっています。</p>	<p>ご指摘の店舗に対しては、以前より、店舗裏側等に、買い物客用駐輪場の設置について要請しています。同店舗からも検討はすると回答を得ておりますが、なかなか実現に至りません。今後も粘り強く要請してまいります。また、市としても、当該歩道の放置自転車に対しては、引き続き啓発、撤去等行ってまいります。</p>	<p>平成22年3月末日をもって、中央大通り歩道上の利用登録駐輪場が閉鎖となったことに伴い、東京都の緊急雇用創出事業を活用し、新たに放置防止指導員を配置いたしました。その効果もあり、東急ストア前の放置自転車についても、日中は、ほぼ停められなくなっております。</p>
自転車	<p>学校(小学生)で自転車ルールを教育する(カリキュラムに入れる)保育園等で講習を義務付ける。</p> <p>警官による注意の徹底!</p>	<p>小学校における、自転車ルールをはじめとする交通安全教育は現在も行っていますが、カリキュラム化については、今後も各小学校に要請していきます。さらに、保育園等の講習会についても、充実させていきたいと考えています。また、警官による注意喚起をより一層強化するよう、武蔵野警察署に要請します。</p>	<p>武蔵野交通安全協会の傘下の団体「ヤングミセスの会」では、市内私立幼稚園等で「指人形劇」を活用した交通安全教育をすでに行っております。</p>
自転車	<p>「市」が主張するほどには自転車のマナー、安全遵守が向上しているとは思えない。</p> <p>端的に言えば「何も変わっていない」。</p> <p>自転車の通路が歩道とは別に取れば理想的だが、狭い町ではムリでしょう。</p> <p>自転車を利用する人のマナーを徹底してほしい。</p>	<p>自転車利用マナーが悪い、暴走自転車が多いという意見が多数寄せられています。そのため、昨年、大学生や高校生にも参加してもらい、自転車安全利用促進検討会を設置し、その提言を受けております。それを踏まえて、市では現在、ルールの周知やマナーアップのための施策を検討しております。例えば、安全講習会を実施し、その受講者へは、駐輪場の優先利用などの優遇処置などが考えられます。</p> <p>また、現在警察においては、夜間の無灯火や二人乗り等の指導、取締りの強化を図っております。</p>	<p>自転車利用者への交通ルールの周知、事故防止のため、武蔵野警察署との共催で、自転車安全利用講習会を開催しています。これまでに一般講習会・出張講習会、中学生を対象とした事故再現型の講習会などを開催し、6,400名以上の方が受講され、正しいルールを身に付けてました。自転車事故の件数も年々減少しており、徐々にその効果が表れています。武蔵野警察としても悪質・危険な場合には、厳しく取り締まっております。</p>
自転車	<p>交通事故発生防止のため、自転車走行のマナーの励行、自転車走行の一旦停止の励行について注意するよう取り締まってほしい。</p>	<p>自転車走行による交通事故防止のため、警察へ取り締まりの強化をお願いするとともに、自転車の安全利用促進のため、警察等関係機関と連携して、自転車走行ルールの周知やマナーの向上等の施策を実施していきます。</p>	

分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
自転車	<p>吉祥寺だけに限られたことではありませんが、昨今、自転車利用者のマナーの悪さが目立ちます。車道走行をすると事故につながる可能性もある事から歩道も走行可にしたのが始まりだと思いますが、歩道を歩いている我々(人間)は自転車からの事故にはあいたくありません。狭い歩道及び人ごみの歩道では、降りて自転車と平行の歩きをルール付けてはいかがでしょうか。特にシニアの方が事故に…。</p>	<p>市内の歩道は、ほとんどが自転車通行可能となっています。しかし、歩道はあくまでも歩行者優先であり、ご指摘のとおり、歩行者に支障がある場合は、自転車は一旦停止することになっています。また、自転車は歩道の車道側を徐行することにもなっていますが、あまり守られていないのが現状です。市では今後、これらの自転車走行ルールの周知や、マナーについて警察等関係機関とも連携し、より一層の啓発等を行っていきます。</p>	<p>基本的なルールについては、自転車安全利用講習会等で、自転車利用者にも周知を行っております。この受講者が年々増えることで、自然とマナーが改善されてくるのが理想と考えています。</p>
防災	<p>吉祥寺本町3丁目、4丁目は木造家屋密集地域で、震災時の危険度が高い。改善対策について聴きたい。</p>	<p>木造住宅密集地域については、密集・木造・老朽の3つの視点から設定されています。防災上の対策として、オープンスペースの確保とともに、可能な場所があれば防災広場等を整備していくこと、また、なにより地震に強い家屋に建替えていくことが最も重要です。今後地域の皆様にご協力を呼び掛けていきます。</p>	<p>建物の建替えに伴い不燃化が進んだことにより地域の防災性が向上し、木造密集地域整備プログラムで早急に整備する地域に指定されていた吉祥寺本町3丁目はその指定から外れています。今後も、行政と市民の方々の協働によりオープンスペースの確保や最低敷地制度による住宅戸数密度の改善、建替えに伴う建物の不燃化の誘導などによりさらなる防災性の向上を図っていきます。</p>
吉祥寺駅	<p>吉祥寺駅にエレベーターを設置してほしい。 ◆重心児の娘を連れての利用が出来ません。</p>	<p>吉祥寺駅はJR東日本が駅舎の耐震工事に合わせ、エレベーターの設置工事を平成22年度までに行う予定です。市では、エレベーターについては、早期に設置するよう要請しています。</p>	<p>JR吉祥寺駅では、改札内エレベーターの設置工事が行われています。工事主体であるJR東日本によりますと、快速線に1基(平成22年11月中旬使用開始予定)、緩行線に1基(平成23年3月中旬使用開始予定)が設置されるとのことです。</p>
商店街	<p>中央線各駅前商店街の将来繁栄化について、吉祥寺、(三鷹、)立川の商店街の将来。</p>	<p>平成18年3月に公表された路線商業活性化懇談会の提言を踏まえて、市内路線商業の活性化を図っていきます。</p>	<p>三駅周辺でのイルミネーション事業なども始まり、それぞれの地区で活性化が進んでいます。</p>

分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
交通安全	商業地区が吉祥寺の魅力になるよう、交通、歩行者、ムーバス、自転車置き場をモデル都市になるほどの町づくりをしてほしい。	吉祥寺グランドデザインを踏まえて、交通体系の見直し等、実状やその計画に合わせて行っていきたくと考えています。また、道路の地下を利用した駐輪場等についても検討していきます。	吉祥寺グランドデザインの推進計画である、進化するまち「NEXT-吉祥寺」プロジェクト(平成22年3月策定)では、「安全で歩いて楽しいまち」をコンセプトに掲げ、自転車駐車場対策、交通アクセスの改善や通過交通の排除などの交通問題に取り組むこととしています。また、道路地下を利用した駐輪場整備に関しては、一時利用ニーズへの対応や維持管理費等の課題があり、今後も継続して検討を行ってまいります。
駅周辺整備	中町一丁目の超高層マンション敷地内に残される保存樹は工事中に移植されると聞いていますが、市はどこに移植しどのように守られるのかを把握されているのでしょうか。	工事中の移植先については、事業者が決めることですが、市でも積極的に状況把握に努めます。	既存の大木につきましては9本を元の位置のまま残置及び8本を計画地内で移植し、17本を計画地内に保存しています。
効率的な行政運営	市の資源をもっと効率的・合理的に活用して、税金を少なく出来るくらいにして欲しい。	現在、市では、学識経験者と公募市民による委員会を設置して、事務事業と補助金について、その必要性や有効性などを検討し、見直し作業を進めるなど、税金を無駄なく有効に活用するよう努めています。	平成21年度に策定した事務事業見直し基準に基づき、行財政改革推進本部及び各課において主体的に事務事業の廃止・縮小・見直しを行い、平成22年度予算において、51件・3億6,017万9千円を削減しました。また、平成20年度に設置した補助金検討委員会において提言された方法により、すべての補助金についての再評価を行い、平成22年度予算において、98件の補助金を見直し、8,892万7千円を削減しました。
効率的な行政運営	無駄な出費を抑え住民サービスの充実を図ってほしい。 ～住民税の減税を検討していただきたい～	「武蔵野市行財政改革集中プラン」に沿って歳出の見直しを着実に実行しております。また、現在、事務事業の見直し及び補助金の見直しを第三者による委員会で行っております。引き続き財政運営の健全性の維持を図ってまいります。	
効率的な行政運営	「邑上市長に代わってから、老人の会合に出席しても弁当が出なくなった。武老連の多くの老人会でも同じ不満が鬱積している。このままでは邑上市長は次のセンキョに負けちゃうよ…」という切実な警告を頂いた。小さな支出をケチって大きな災いを招くなかれ!	老人クラブの補助金の使途については、一定の基準に基づき各老人クラブが決めています。情勢として食糧費は最小限に止める傾向にあるようです。なお、老人クラブに対する市の補助金額には変更ありません。	老人クラブの活性化を図るため、平成22年度から、これまでのバス研修に対する補助を、それ以外の多様な研修にも利用できるように改めました。



分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
効率的な行政運営	”オーフス条約”のような環境への積極的な取り組み(新制度)を望む。	オーフス条約については、批准されていないため国内では効力を持っていませんが、市としては、環境政策への市民参画、幅広い情報提供に努めていきます。 ※オーフス条約 環境に関する情報へのアクセス、政策決定過程への参加、司法へのアクセスの3つの権利について、各国内で制度化し、保障することにより、環境分野における市民参加を促進させることを目的とした条約。	「市では環境基本条例において、市民、事業者及び市が協働することによって環境保全に取り組むことを基本理念として掲げており、環境市民会議への市民、事業者等の参加や、環境まちづくり協働事業等の協働事業を展開しています。今後とも環境政策での市民等との協働、幅広い情報提供に努めていきます。
職員の資質向上	最近の市職員は、考え方や行動に甘さが見えてきた。もっと自発性をもって種々、提案して欲しい。	職員の「甘さ」について、具体的な指摘を受けて対応を考えていくとともに、職員が提案を含めて自発的に考え、行動するような人材育成に取り組んでいきます。	職員がより自発的に考え、行動する等の人材育成の方針を職員に浸透させる方策のひとつとして、現在「職員行動指針」を策定中です。
タウンミーティング	地域を切り口としたタウンミーティングも大変重要ですが、テーマを切り口としたタウンミーティングの開催を検討していただきたい。 具体的には、保育園・学童等学童期までの子育て支援に対して行政としての市の果たす役割、目標について市民と市が共通認識を持てるような意見交換は難しいでしょうか？	現在、各コミュニティ協議会との共催により実施しているタウンミーティングが一巡した後、テーマ別のタウンミーティングを開催していきたいと考えております。テーマについては、現在、開催方法や場所なども含めて、検討しております。	平成19年度より、テーマ別タウンミーティングを開催しています。現在までに取り上げたテーマとしては、「吉祥寺・三鷹・武蔵境地区の商店街振興(各1回ずつ開催)」「災害に強いまちづくり」「地域で支えあう福祉のまちづくり」「市民協働で育むまちづくり」「市民とつくる環境にやさしいまちづくり」などがあります。子育てをテーマとしたタウンミーティングは、平成22年10月23日に「地域で育てよう！武蔵野の子ども」というテーマで開催予定です。
広聴	タウンミーティングの今のやり方を、もう一歩進化させる必要がある。	現在、各コミュニティ協議会との共催により実施しているタウンミーティングが一巡した後、テーマ別のタウンミーティングを開催していきたいと考えております。現在、開催方法や場所なども含めて、検討しております。	平成19年度からはテーマ別タウンミーティング、平成20年度からはテーマを特に設けない青空タウンミーティングを開催しています。

分類	ご意見 (H19.7月、8月実施)	報告書 (H19発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
健全な財政運営	固定資産税を減らしてください。	本市の固定資産税の税率は、地方税法に規定する標準税率「1.4%」を適用しています。法律上の制約から税率をさげることは困難で、全国でもこれを下回る税率を採用している自治体はありません。しかしながら、ご要望があることから、現在、固定資産税の軽減策について研究・検討をしています。基本的には、商業の活性化や防災安全推進の観点から、老朽化した家屋の建替え促進につながる軽減策を考えています。	商店街の活性化や中小商店者の支援、新耐震基準に合致しない老朽化した家屋の建て替え促進を図ることを目的に、平成21年度課税より新築の非住宅家屋(店舗・事務所等)に対する固定資産税を一定期間2分の1に軽減しております。
青少年施策	健全な青少年育成を望む。それには青少年(中・高生)が集える場所・居場所作りを望む。  中高生の居場所を作って欲しい。市内に児童館は1館しかない。コミセンではうるさがられて、迷惑をかけているようである。杉並区や調布市にはそういう施設があつてうらやましい。	中高生の居場所づくりについては、調整計画策定委員会で議論していただいているところです。また、市では、JR武蔵境駅南口に、平成22年度中の開館を目的に、図書館を中心とした青少年活動・市民活動・生涯学習の各支援機能をもった新しい公共施設(武蔵野プレイス(仮称))の建設を予定しています。特に青少年活動の支援については、青少年センター的な役割を持ち、青少年の「居場所」として、さまざまな機能を持った、青少年がのびのびとできるだけ自由に利用できるような施設を目指しています。	健全な青少年の育成は、地域・家庭・行政がともに協力し取り組んでいく必要があります。学校やコミュニティセンターなどの公の施設だけでなく、青少年自らが望むものに耳を傾け、考えていく必要があります。  武蔵野プレイスは、「青少年の集える場所・居場所作り」をハード・ソフトの両面で実現していく取り組みですが、これ以外にも、青少年の(活躍の)場として、市では、中高生リーダー講習会に参加した青少年に対する様々な活動にボランティアとして参加する機会を、地域の皆様のご協力も得ながら提供しています。  これら青少年に対して、継続して活動できる基盤の整備と、青少年自身の成長の場として、「地域青少年リーダー制度(仮)」を構築し、青少年の活動の場をソフト的に確保していく予定です。
地域福祉	地域福祉の鍵を握るのは地域社協。地域社協を行動する福祉の実戦部隊にしたい。行政と市民の協働をいかに実現するか、市民の意識革命が必要だ。	地域福祉を支える社会資源として、地域社協へは大きな期待をしています。市民社会福祉協議会とも連携を図りながら、地域社協の活動を一層支援したいと考えています。	地域福祉計画策定の中で検討していきます。

# 第32回 市民 と 市長 の

# タウンミーティング

市民と市長が意見交換を行います。  
あなたの声をお聞かせください。



開催日時

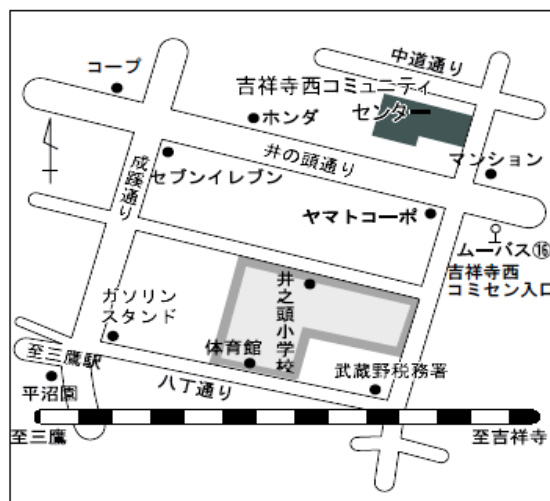
7月18日(日) 14:00~16:30

会場

吉祥寺西コミュニティセンター

地下1階プレイルーム

(武蔵野市吉祥寺本町3-20-17)



テーマ

「安心・安全な住みよいまちづくり」

「各世代の居場所づくりと住みよい環境づくり」



申込不要です。当日、直接会場へお越しください。



お車でのご来場は、ご遠慮ください。



主催

中央コミュニティ協議会  
吉祥寺西コミュニティ協議会  
武蔵野市

問い合わせ

武蔵野市役所 市民協働推進課(2階)

TEL 0422-60-1829





FAX 0422-51-2000



## 第32回



# 市民と市長のタウンミーティング

## 「安心・安全な住みよいまちづくり」

 人が安全に、安心して歩行できる道路   
 災害に強いまちづくり 

## 「各世代の居場所づくりと住みよい環境づくり」

中高校生とお年寄りの居場所と各世代の世代間交流について

 三鷹駅前を武蔵野らしい文化が薫る玄関口へ 



当日参加できない方で、上記のことについて、市長にご意見・ご要望のある方は、下記枠内にお書きになり、市役所（2階）市民協働推進課、または各市政センターにお届けいただくか、FAXで市民協働推進課（0422-51-2000）にお送りください。

-----

-----

-----

-----

第32回

地域別  
市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成22年10月  
武蔵野市 企画政策室 市民協働推進課  
武蔵野市緑町2丁目2番28号  
電話(0422)60-1829 (直通)